

## 2 広報・広聴

### 問14 広報活動の周知度

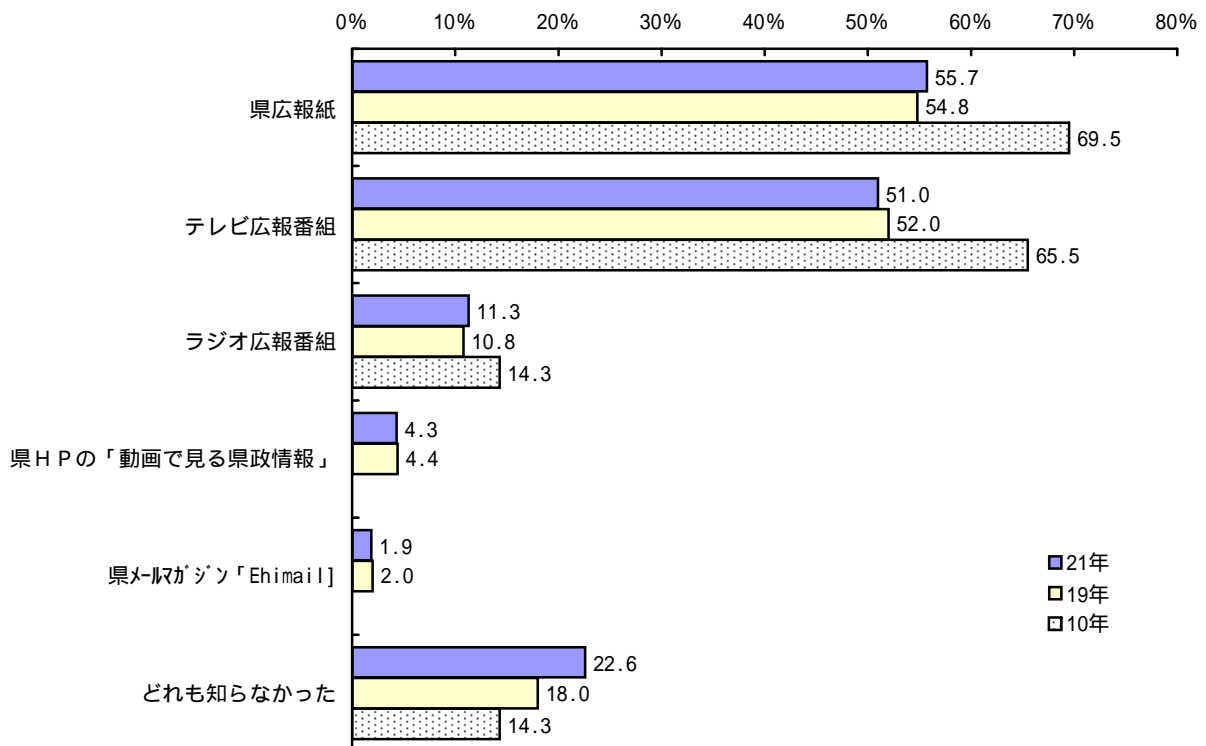
県では、次のような広報を行っていますが、あなたが知っているものをいくつか選んで番号を で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 テレビ広報番組：愛!愛!!えひめ(南海放送)		51.0
2 県広報紙：県民だより「さわやか愛媛」 (新聞折り込みによる広報紙)		55.7
3 ラジオ広報番組		11.3
┌ 県政FM情報(FM愛媛)		
└ 週刊さわやか愛媛(南海放送ラジオ)		
4 県メールマガジン「Ehimail(エメール)」		1.9
5 県ホームページの「動画で見る県政情報」		4.3
6 どれも知らなかった		22.6

県が行っている広報活動のうち、知っているものを聞いたところ、「県広報紙」(55.7%)及び「テレビ広報番組」(51.0%)と答えた人の割合が特に多く、以下「ラジオ広報番組」(11.3%)、「県ホームページの「動画で見る県政情報」」(4.3%)、「県メールマガジン「Ehimail」」(1.9%)の順となっている。

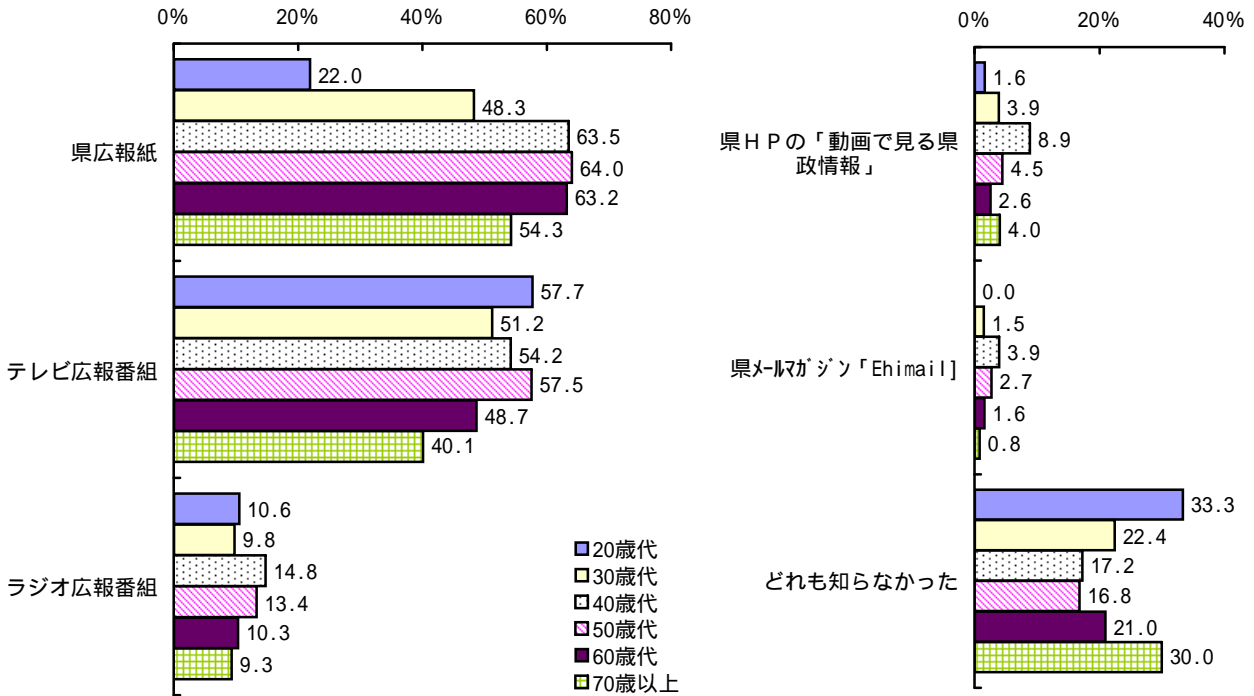
また、前回調査と比較すると、「県広報紙」と答えた人の割合が0.9%増加(平成10年調査より13.8%減少)、「テレビ広報番組」が1.0%減少(平成10年調査より14.5%減少)、「ラジオ広報番組」が0.5%増加(平成10年調査より3.0%減少)、「県メールマガジン「Ehimail」」は0.1%減少している。

なお、「どれも知らなかった」と答えた人の割合が22.6%となっており、前回調査よりも4.6%増加(平成10年調査より8.3%増加)している。



【年齢別】

年齢別にみると、40歳代以上では「県広報紙」と答えた人の割合が最も多く、中でも40歳代（63.5%：前回調査より8.6%増加）、50歳代（64.0%）、60歳代（63.2%）では60%を超え、他の年齢層と比較しても特に多くなっている。20歳代、30歳代では「テレビ広報番組」が最も多くなっている。また、「県広報紙」と答えた人の割合は20歳代で、「テレビ広報番組」は70歳以上で他の年齢層と比較して特に少なくなっている。一方で「どれも知らなかった」は20歳代（33.3%）、70歳以上（30.0%：前回調査より9.6%増加）で他の年齢層と比較して多くなっている。

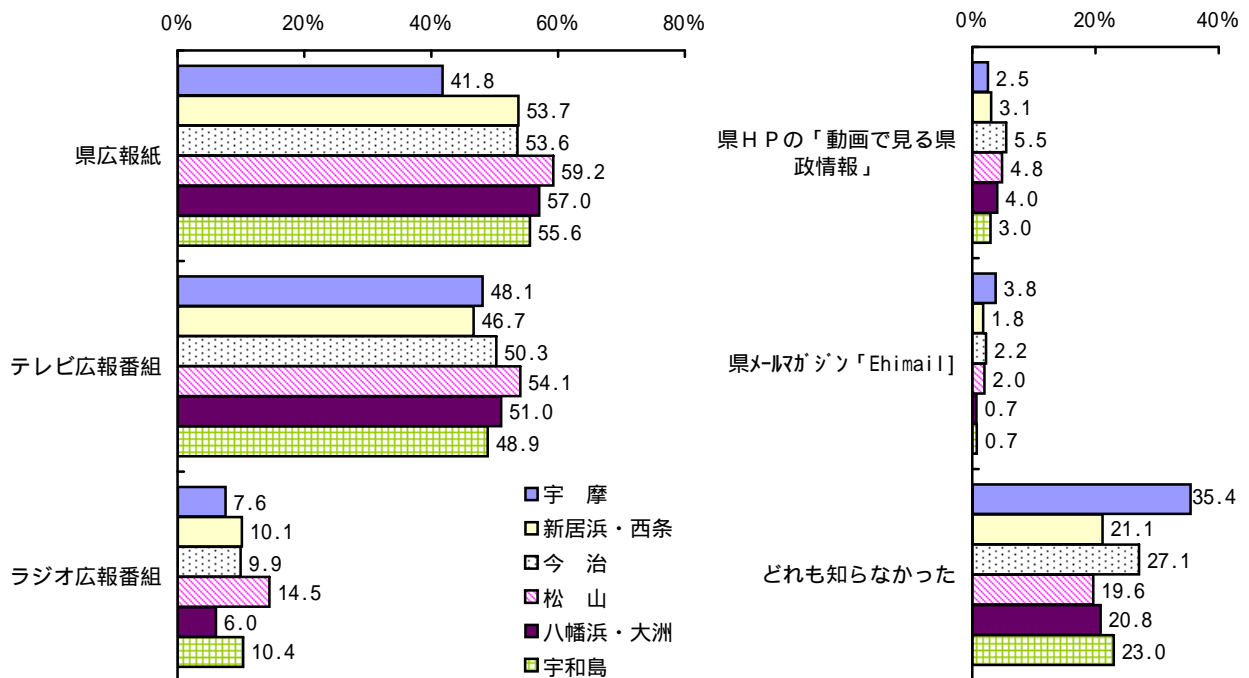


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で「県広報紙」と答えた人の割合が最も多く、宇摩圏域では「テレビ広報番組」が最も多くなっている。

また、「どれも知らなかった」と答えた人の割合は、全ての圏域で前回調査よりも増加しており、特に宇摩圏域では35.4%（前回調査より12.8%増加）と他の圏域と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、「県広報紙」と答えた人の割合は宇摩圏域（12.9%減少）、八幡浜・大洲圏域（10.2%増加）で、「テレビ広報番組」は宇和島圏域（14.7%減少）で大きく変化している。



問15 テレビ広報番組の視聴経験

県のテレビ広報番組（愛！愛！！えひめ（南海放送 21：54～22：00））をご覧になったことがありますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。  
 (複数回答) (%)

- 1 見たことがある 40.8
- 2 見たことがない 59.2

《テレビ広報番組を見ての感想》 (回答者 = 552) (%)

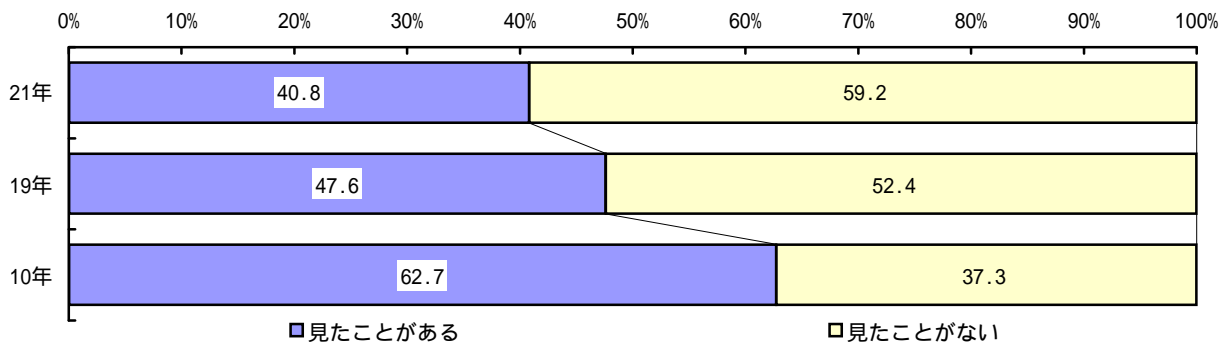
- 1 番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった 18.7
- 2 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった 48.9
- 3 番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい 13.8
- 4 番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい 12.1
- 5 その他 6.5

《「見たことがない」理由》 (回答者 = 780) (%)

- 1 放送されていることを知らなかった 63.1
- 2 仕事の都合などで、現在の放送時間では見ることができない 18.1
- 3 広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない 11.0
- 4 その他 7.8

県のテレビ広報番組を見たことがあるかを聞いたところ、「見たことがない」と答えた人の割合が59.2%で、「見たことがある」の40.8%を18.4%上回っている。

また、前回調査と比較すると、「見たことがない」と答えた人の割合が6.8%増加している。(平成10年調査より21.9%増加)

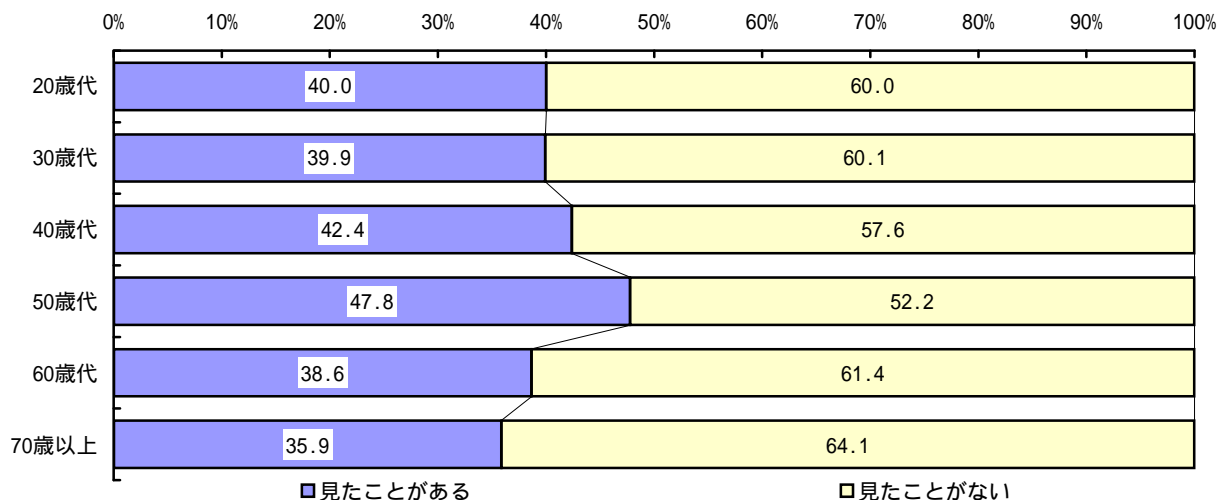


注 平成19年調査及び平成10年調査の「見たことがある」は、全回答者数から「どれも見たことがない」を減じた数。平成19年度調査時点では2番組、平成10年度調査時点では9番組を放送。

【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「見たことがある」と答えた人の割合の方が「見たことがない」を下回っており、中でも60歳以上で他の年齢層と比較してやや少なくなっている。

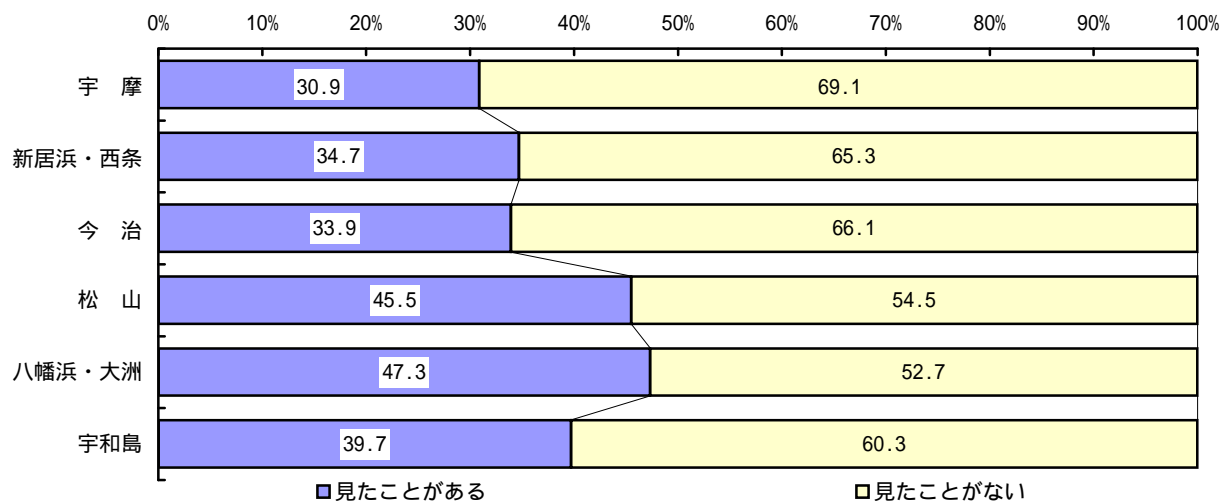
また、前回調査と比較すると、「見たことがない」と答えた人の割合は、20歳代（15.2%増加）、30歳代（15.0%増加）、40歳代（16.5%増加）で大きく増加している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「見たことがある」と答えた人の割合の方が「見たことがない」を下回っており、特に宇摩圏域、新居浜・西条圏域、今治圏域で他の圏域と比較して少なくなっている。

また、「見たことがない」と答えた人の割合は、八幡浜・大洲圏域を除く全ての圏域で前回調査より増加しており、中でも新居浜・西条圏域（12.3%増加）、今治圏域（11.2%増加）、宇和島圏域（12.2%増加）で大きく増加している。

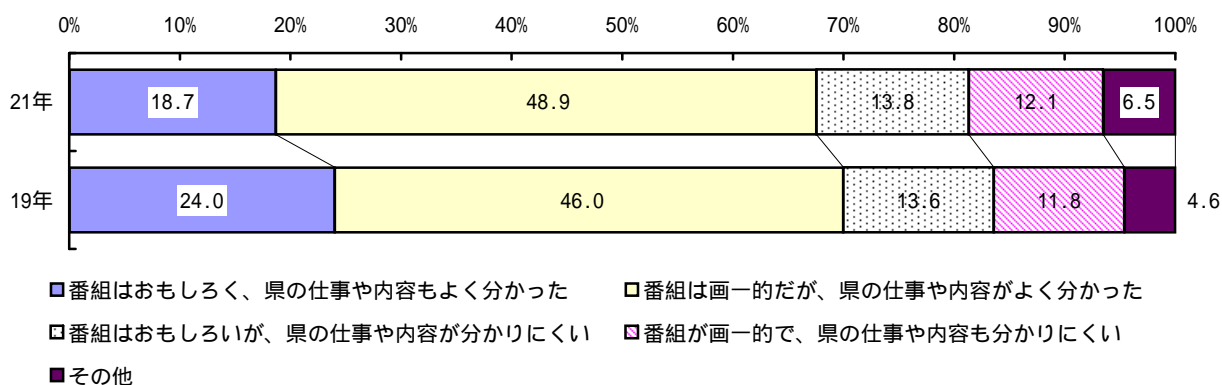


### 《テレビ広報番組を見ての感想》

県のテレビ広報番組を見たことがあると答えた人に、その感想を聞くと、「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が48.9%で特に多く、次いで「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」（18.7%）、「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」（13.8%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が2.9%増加、「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」が5.3%減少している。

なお、「県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合は67.6%（前回調査より2.4%減少）となっている。

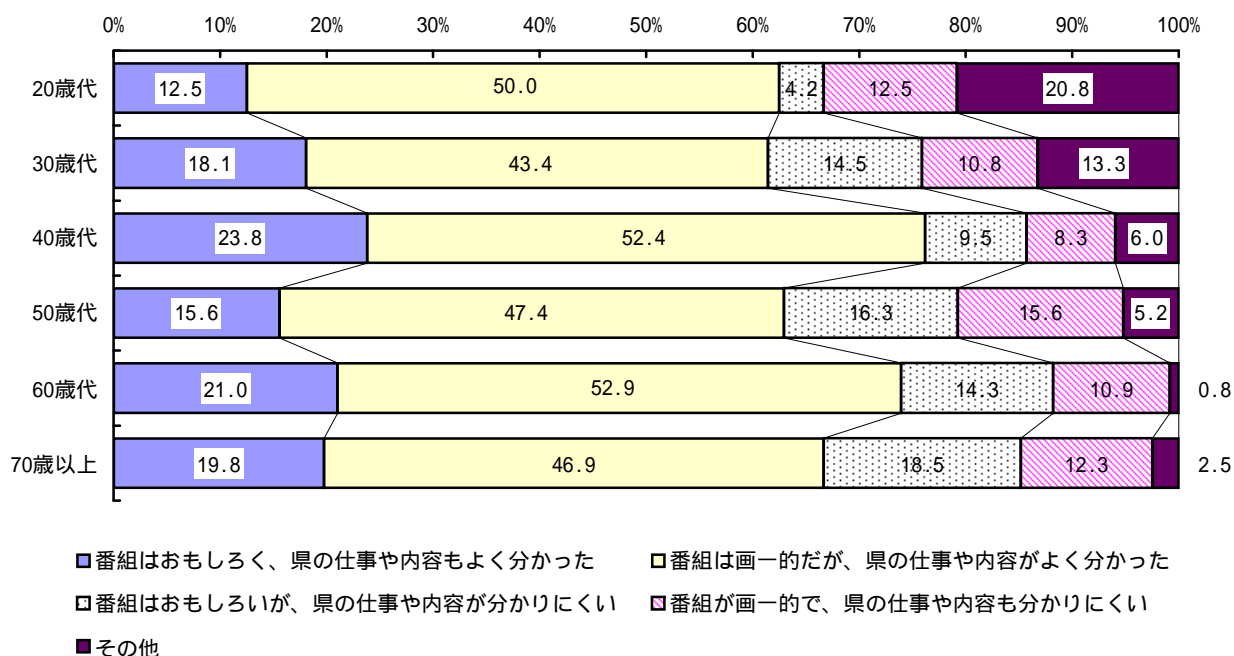


### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代（50.0%）、40歳代（52.4%）、60歳代（52.9%）で他の年齢層と比較して多くなっているほか、70歳以上では前回調査より13.6%増加している。

また、60歳代を除く全ての年齢層で「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」と答えた人の割合が前回調査より減少しており、中でも70歳以上で16.1%も減少している。

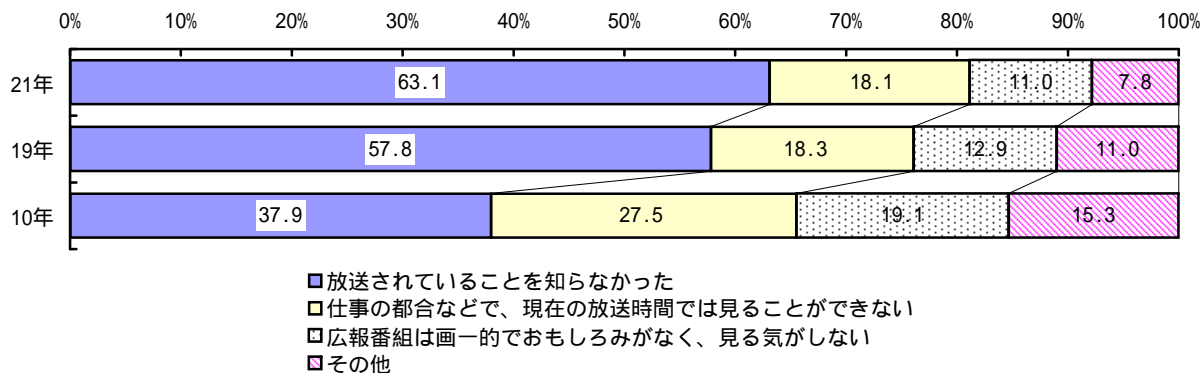
この他、「番組がおもしろい」と答えた人の割合は、20歳代を除く全ての年齢層で30%を超えているが、20歳代では16.7%（前回調査より23.8%減少）と特に少なくなっている。



### 《見たことがない理由》

県のテレビ広報番組を「見たことがない」と答えた人に、その理由を聞くと、「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が63.1%と特に多く、次いで「仕事の都合などで、現在の放送時間では見るができない」（18.1%）、「広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない」（11.0%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が5.3%増加（平成10年調査より25.2%増加）、「広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない」が1.9%減少（平成10年調査より8.1%減少）している。

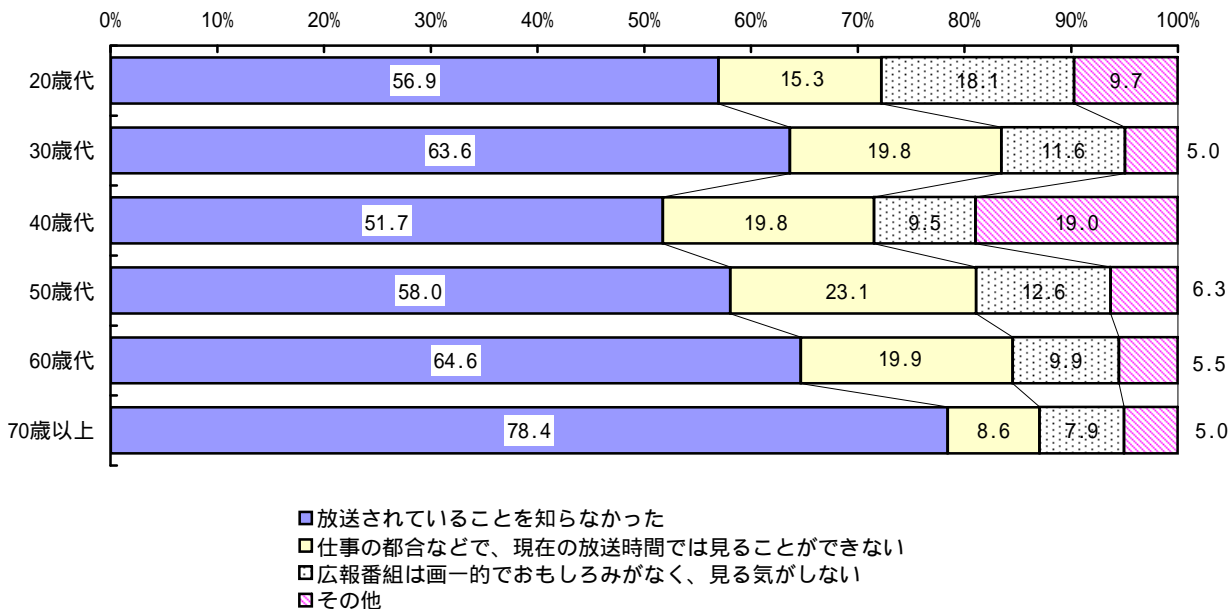


### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が最も多く、特に70歳以上（78.4%）で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、同項目では全ての年齢層で前回調査より増加しており、中でも70歳以上では18.1%も増加している。

この他、「仕事の都合などで、現在の放送時間では見るができない」と答えた人の割合は30歳代から60歳代で、「広報番組は画一的でおもしろみがなく、見る気がしない」は20歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。



問16 ラジオ広報番組の聴取経験

次にあげる県のラジオ広報番組であなたがお聞きになったことがあるものをいくつでも選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

- 1 県政FM情報 (FM愛媛)  
毎週月～金曜日 11:54～11:55 7.9
- 2 週刊さわやか愛媛 (南海放送ラジオ)  
毎週土曜日 9:20～9:30 7.0
- 3 どれも聞いたことがない 86.7

《ラジオ広報番組を聞いての感想》 (回答者 = 172) (%)

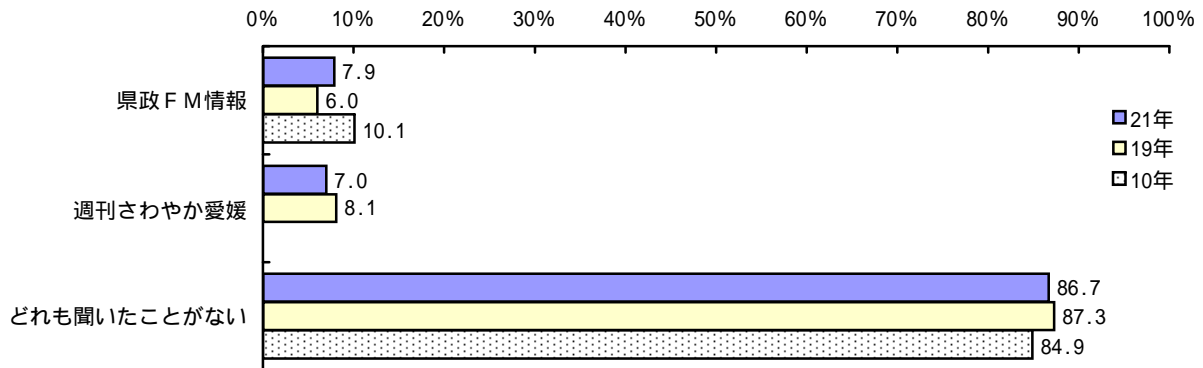
- 1 番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった 18.6
- 2 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった 41.9
- 3 番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい 15.1
- 4 番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい 17.4
- 5 その他 7.0

《「どれも聞いたことがない」理由》 (回答者 = 1104) (%)

- 1 放送されていることを知らなかった 56.2
- 2 仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない 19.4
- 3 広報番組は画一的でおもしろみがなく、聞く気がしない 4.5
- 4 その他 19.9

県のラジオ広報番組のうちで、聞いたことがあるものについて聞いたところ、「県政FM情報」と答えた人の割合が7.9%、「週刊さわやか愛媛」が7.0%、「どれも聞いたことがない」が86.7%となっている。

また、前回調査と比較すると、「県政FM情報」と答えた人の割合が1.9%増加、「週刊さわやか愛媛」が1.1%減少、「どれも聞いたことがない」が0.6%減少している。



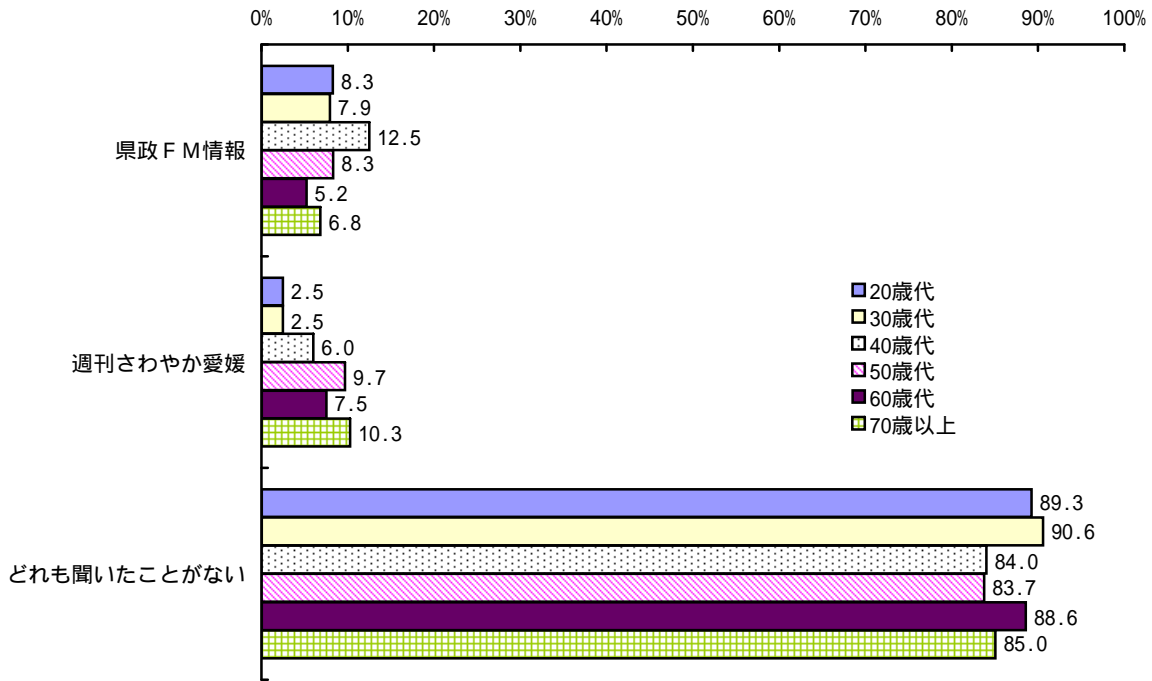


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「どれも聞いたことがない」と答えた人の割合が圧倒的に多く、中でも、20歳代、30歳代、60歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「県政FM情報」と答えた人の割合は40歳代（12.5%：前回調査より8.6%増加）で他の年齢層と比較して多くなっているほか、「週刊さわやか愛媛」は概ね年齢が高いほど多くなっている。

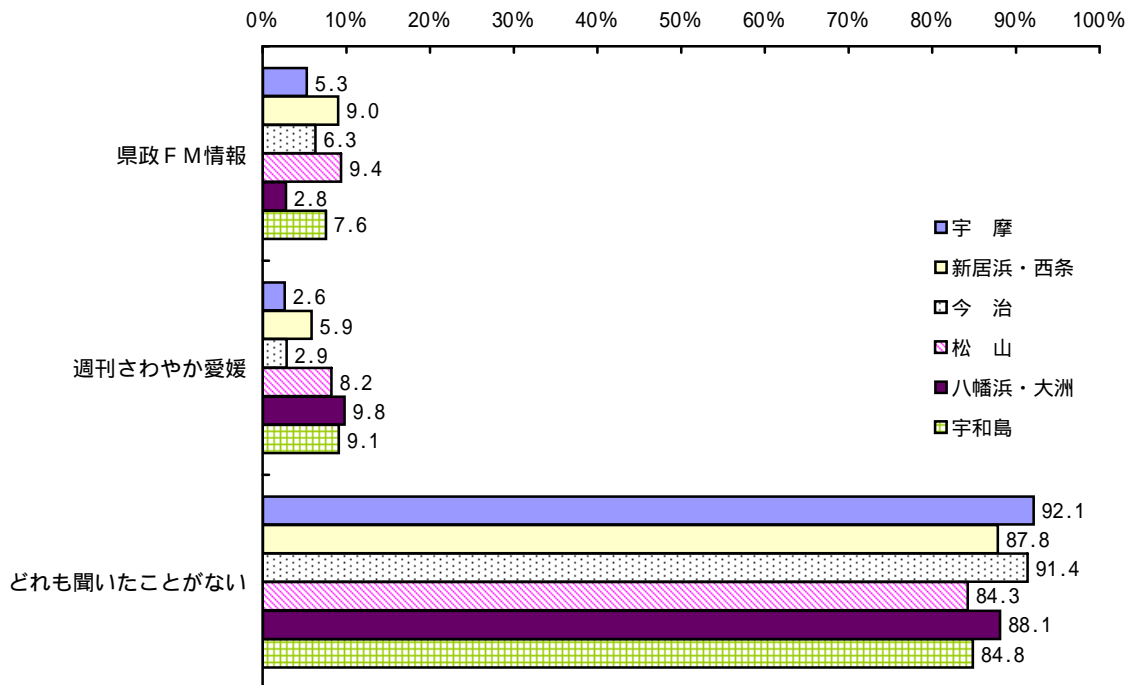
この他、「どれも聞いたことがない」と答えた人の割合が40歳代で前回調査より6.6%減少している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「どれも聞いたことがない」と答えた人の割合が圧倒的に多く、中でも、宇摩圏域（92.1%）、今治圏域（91.4%）で他の圏域と比較して多くなっている。

また、「県政FM情報」と答えた人は新居浜・西条圏域、松山圏域、宇和島圏域で、「週刊さわやか愛媛」は松山圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域で他の圏域と比較してやや多くなっており、前回調査と同様の傾向となっている。



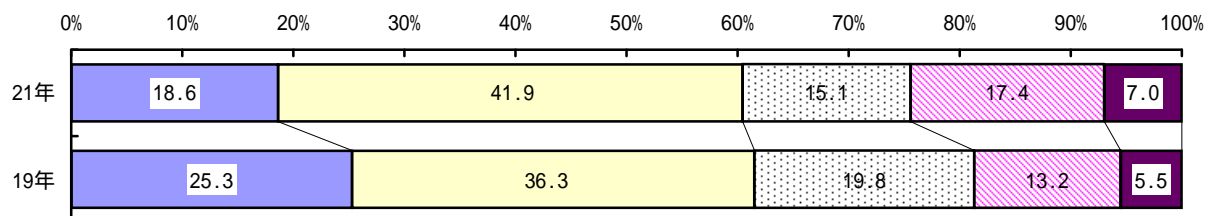


### 【ラジオ広報番組を聞いての感想】

県のラジオ広報番組を聞いたことがある人に、その感想を聞くと、「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が41.9%で特に多く、次いで「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」（18.6%）、「番組は画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」（17.4%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が5.6%増加、「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」が6.7%減少しているほか、「番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい」（4.2%増加）と「番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい」（4.7%減少）の順位が入れ替わっている。

なお、「番組が画一的だ」と答えた人の割合は59.3%（前回調査より9.8%増加）となっている。

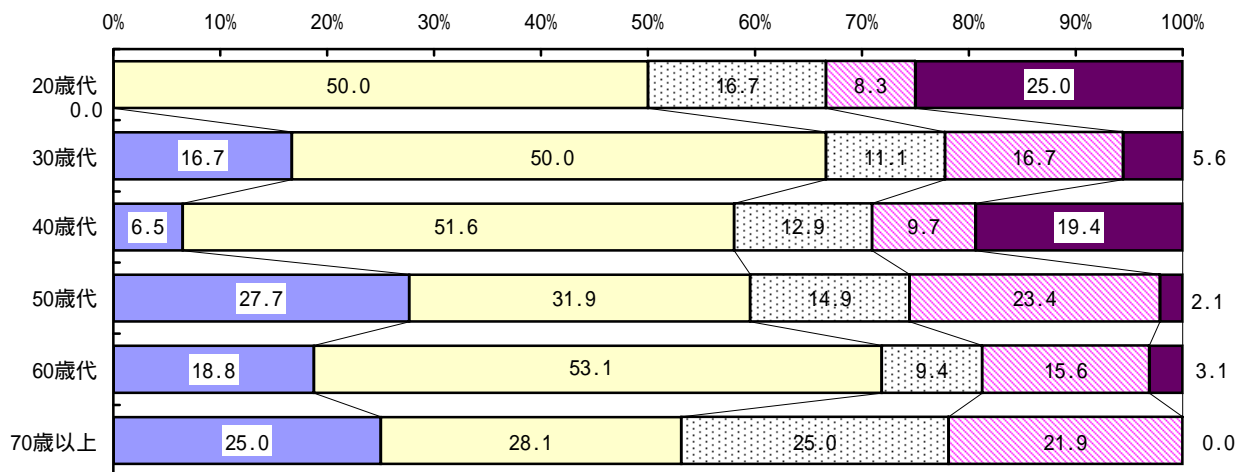


- 番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった
- 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった
- 番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい
- 番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい
- その他

### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代から40歳代、60歳代では他の年齢層と比較して特に多くなっている。

また、「番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった」と答えた人の割合は、20歳代で0%（前回調査も0%）であった。

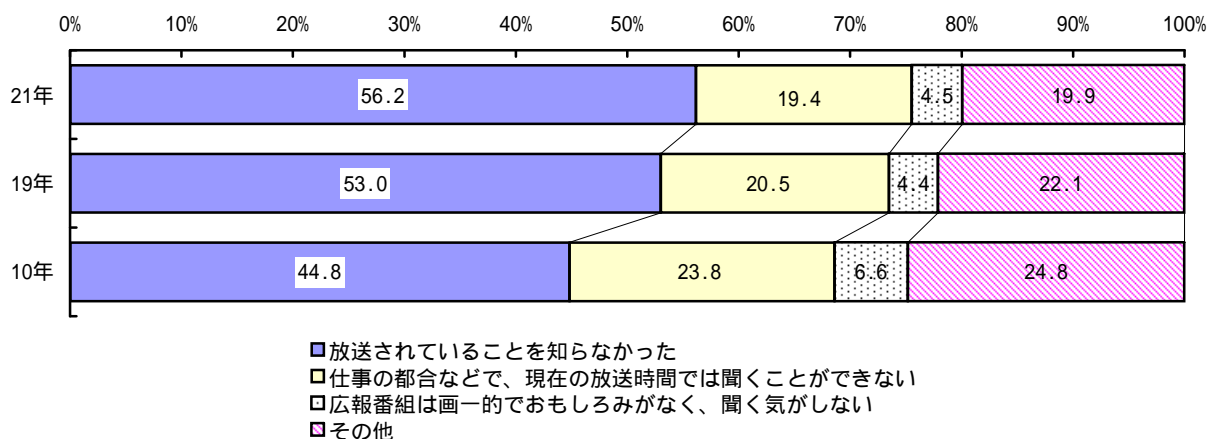


- 番組はおもしろく、県の仕事や内容もよく分かった
- 番組は画一的だが、県の仕事や内容がよく分かった
- 番組はおもしろいが、県の仕事や内容が分かりにくい
- 番組が画一的で、県の仕事や内容も分かりにくい
- その他

### 《聞いたことがない理由》

県のラジオ広報番組を「どれも聞いたことがない」と答えた人に、その理由を聞くと、「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が56.2%と特に多く、次いで「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」（19.4%）、「広報番組は画一的でおもしろみがなく、聞く気がしない」（4.5%）となっている。

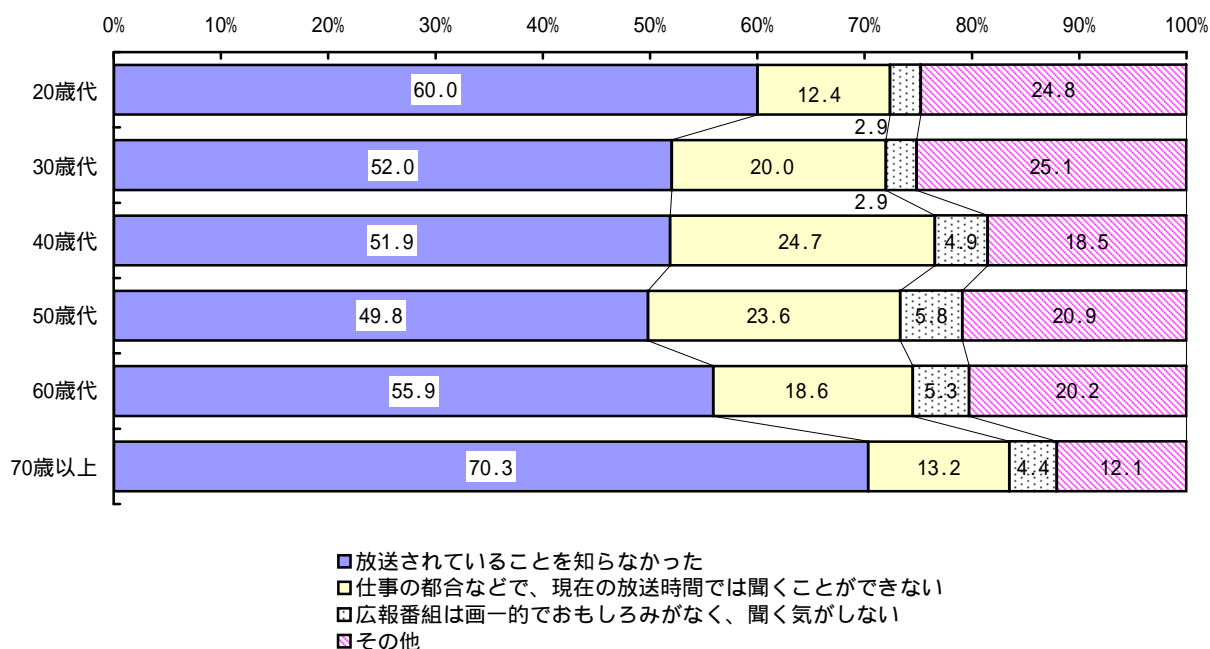
また、前回調査と比較すると、「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が3.2%増加（平成10年調査より11.4%増加）、「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」が1.1%減少（平成10年調査より4.4%減少）している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「放送されていることを知らなかった」と答えた人の割合が最も多く、中でも70歳以上（70.3%：前回調査より9.5%増加）で他の年齢層と比較して特になくなっていく。

また、「仕事の都合などで、現在の放送時間では聞くことができない」と答えた人の割合は30歳代から60歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。



問17 県民だよりの周知度

県では、県政の様々な情報を県民の皆さんにお知らせするため、年間10回、県民だよりに「さわやか愛媛」を発行し、新聞折り込みなどで各ご家庭に直接お届けしています。

あなたは、この県民だよりをご存じでしたか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

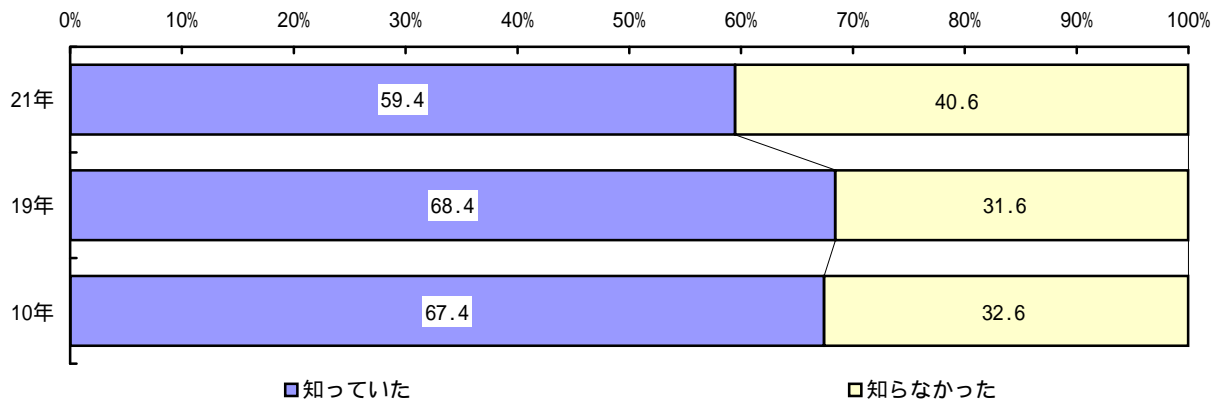
		( % )
↓	1 知っていた	59.4
	2 知らなかった	40.6
<p>それでは、あなたは、この県民だよりをどの程度読んでいますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。</p>		

	( 回答者 = 819 )	( % )
1	全体をよく読んでいる	15.5
2	興味のあるところを選んで読んでいる	52.4
3	見出し程度しか読まない	20.1
4	ほとんど読むことはない	10.4
5	まったく読まない	1.6

《県民だよりに「さわやか愛媛」を見ての感想》	( 回答者 = 734 )	( % )
1	紙面は見やすく、情報量も適当である	52.3
2	紙面は見づらいが、情報量は適当である	17.0
3	紙面は見やすいが、情報量が少ない	19.8
4	紙面は見づらく、情報量も少ない	4.4
5	その他	6.5

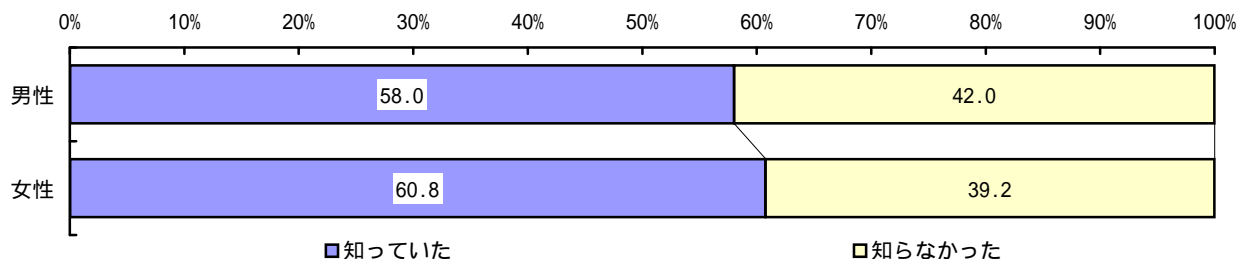
県民だよりに「さわやか愛媛」を知っているかどうかを聞いたところ、「知っていた」と答えた人の割合が59.4%で「知らなかった」の40.6%を18.8%上回っている。

また、前回調査と比較すると、「知っていた」と答えた人の割合が9.0%減少している。(平成10年調査より8.0%減少)



【性別】

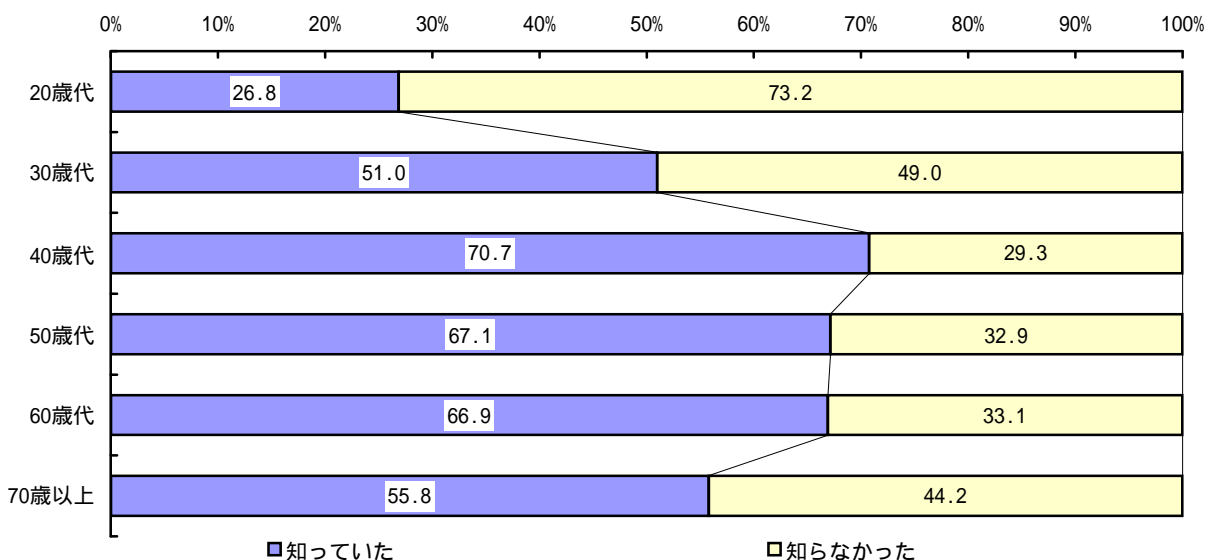
性別にみると、「知っていた」と答えた人の割合は、女性（60.8%：前回調査より9.7%減少）の方が男性（58.0%：前回調査より7.5%減少）より2.8%多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代を除く全ての年齢層で「知っていた」と答えた人の割合の方が多く、中でも40歳代から60歳代で他の年齢層と比較して特に多くなっている。20歳代では、「知っていた」は26.8%となっている。

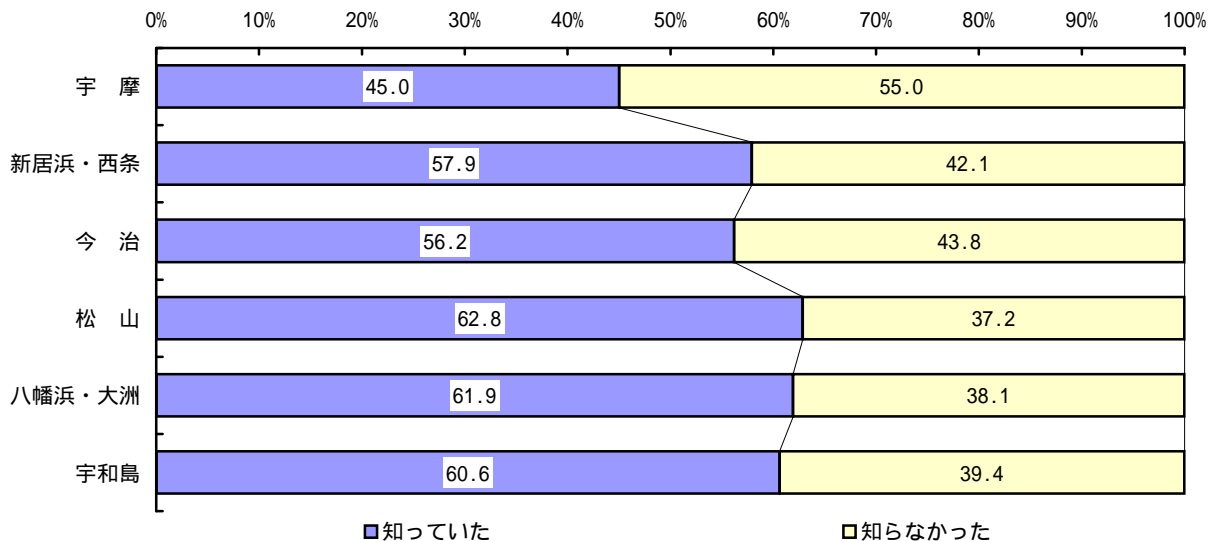
また、前回調査と比較すると、「知っていた」と答えた人の割合が20歳代（9.4%減少）、60歳代（14.5%減少）、70歳以上（13.5%減少）で大きく減少している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で「知っていた」と答えた人の割合の方が多く、中でも松山圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では60%を超えている。宇摩圏域では、「知っていた」は45.0%となっている。

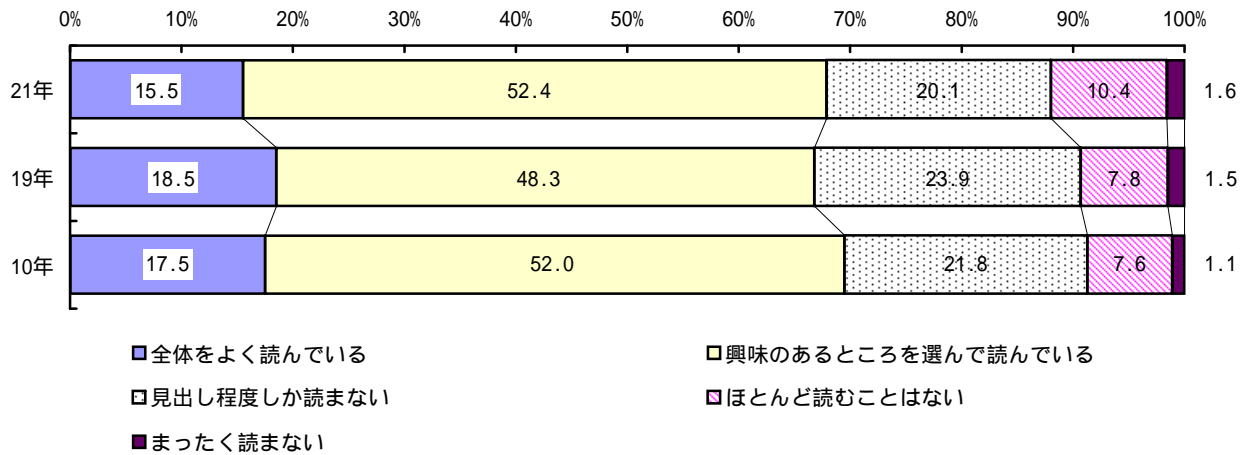
また、前回調査と比較すると、「知っていた」と答えた人の割合が宇摩圏域（30.0%減少）、新居浜・西条圏域（12.0%減少）、今治圏域（14.4%減少）で大きく減少している。



### 《県民だよりへの関心度》

県民だよりを「知っていた」と答えた人に、どの程度読んでいるかを聞いたところ、「興味のあるところを選んで読んでいる」と答えた人の割合が52.4%と特に多く、以下「見出し程度しか読まない」（20.1%）、「全体をよく読んでいる」（15.5%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「興味のあるところを選んで読んでいる」と答えた人の割合が4.1%増加、「見出し程度しか読まない」は3.8%減少しており、「ほとんど読むことはない」は2.6%増加している。

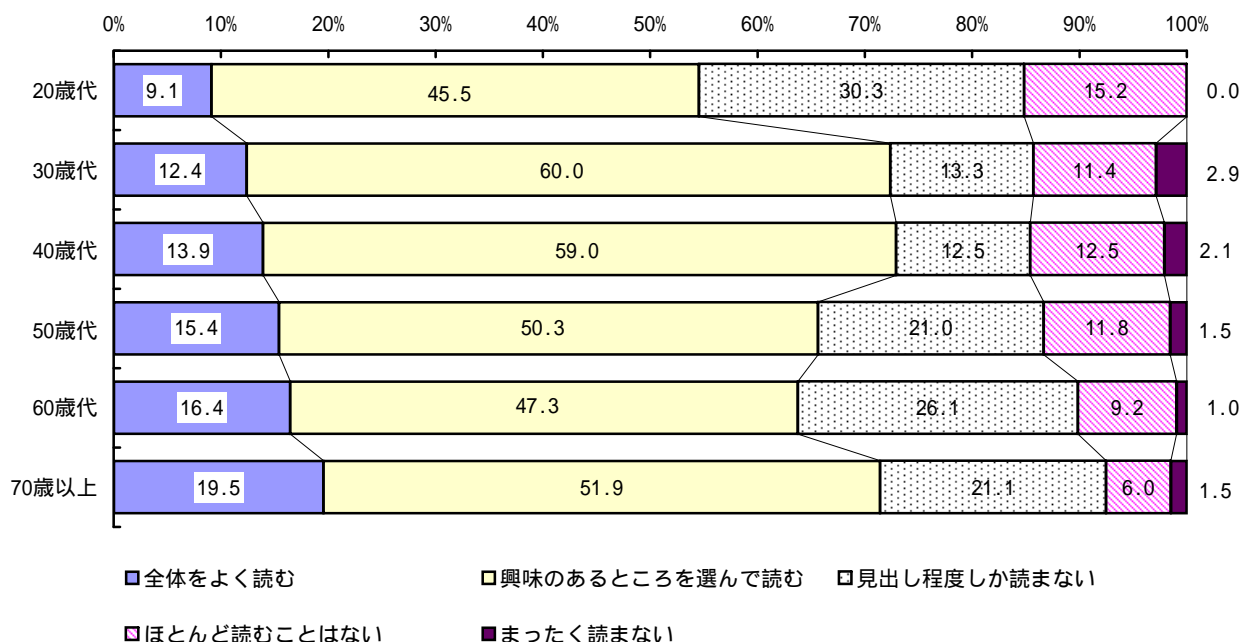


### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「興味のあるところを選んで読んでいる」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代（60.0%：前回調査より12.4%増加）、40歳代（59.0%）で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「見出し程度しか読まない」と答えた人の割合は20歳代、60歳代で他の年齢層と比較して多くなっているほか、「全体をよく読んでいる」は年齢が高くなるほど、「ほとんど読むことはない」は概ね年齢が低くなるほど多くなっている。

この他、「読んでいる」（「全体をよく読んでいる」及び「興味のあるところを選んで読んでいる」）と答えた人の割合は20歳代で54.6%と他の年齢層と比較して特に少なくなっている。

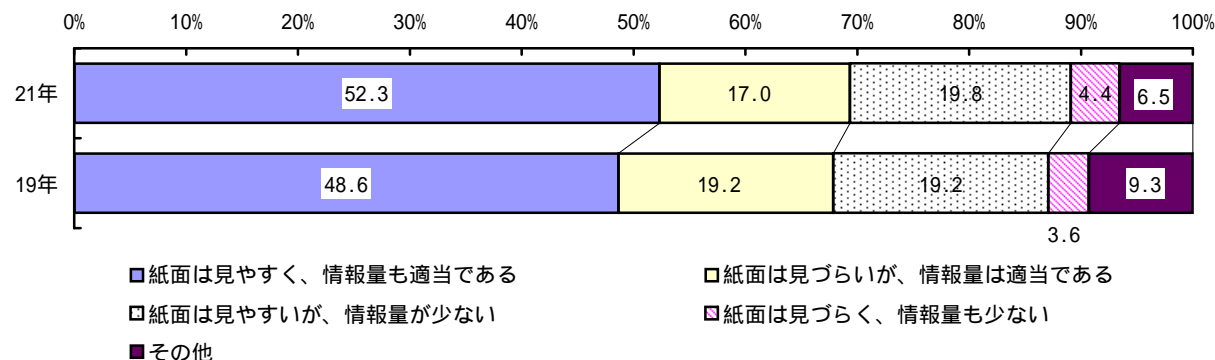


### 【県民だよりを見ての感想】

県民だよりを見ての感想を聞いたところ、「紙面は見やすく、情報量も適当である」と答えた人の割合が52.3%で特に多く、以下「紙面は見やすいが、情報量が少ない」（19.8%）、「紙面は見づらいが、情報量は適当である」（17.0%）、「紙面は見づらく、情報量も少ない」（4.4%）となっている。

また、前回調査と比較すると、「紙面は見やすく、情報量も適当である」と答えた人の割合が3.7%増加している。

この他、「紙面が見やすい」と答えた人の割合は72.1%で前回調査より4.3%増加している。

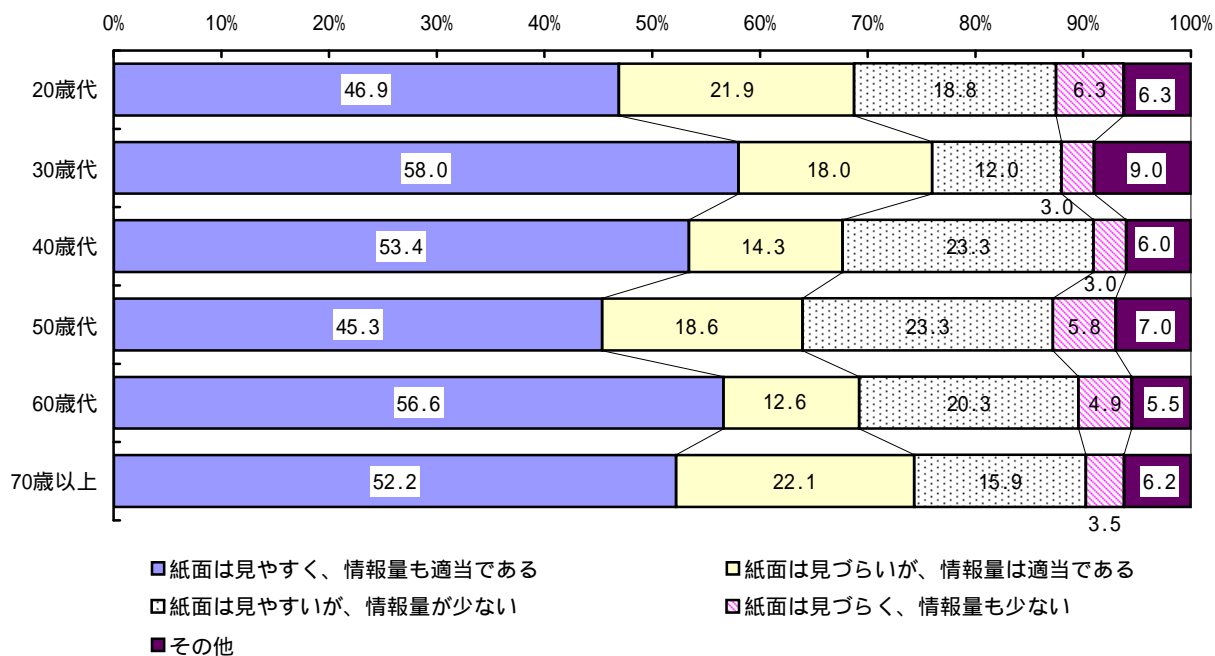


### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「紙面は見やすく、情報量も適当である」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代（58.0%：前回調査より9.7%増加）、60歳代（56.6%）で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「紙面は見づらいが、情報量は適当である」と答えた人の割合は20歳代、70歳以上、「紙面は見やすいが、情報量が少ない」は40歳代から60歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、「紙面は見やすく、情報量も適当である」と答えた人の割合は40歳代（7.8%増加）で、「紙面は見やすいが、情報量が少ない」は20歳代（10.1%増加）で大きく増加している。



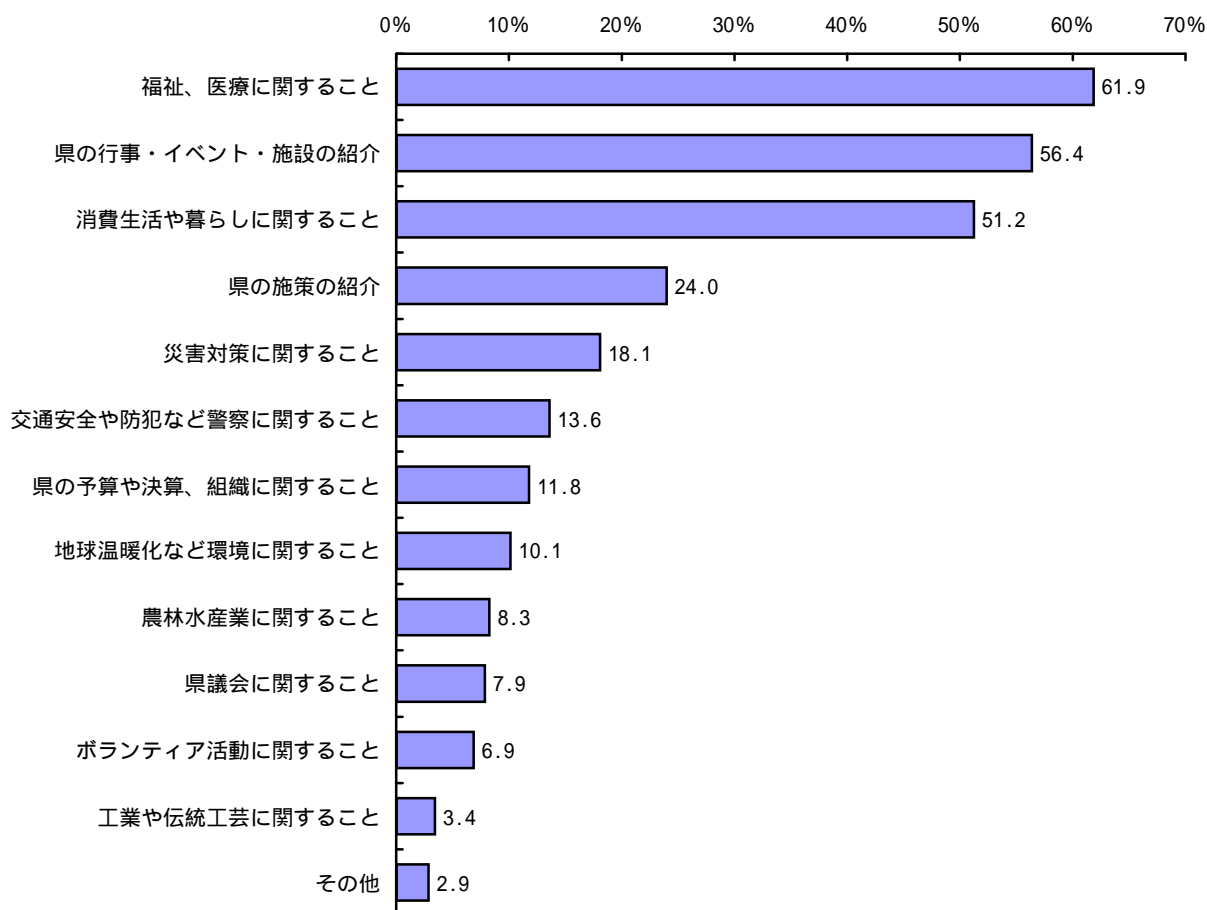
## 問18 県民だよりで取り上げるテーマの希望

県民だより「さわやか愛媛」について、今後、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 県の施策の紹介		24.0
2 県の行事・イベント・施設の紹介		56.4
3 県の予算や決算、組織に関する事		11.8
4 福祉、医療に関する事		61.9
5 消費生活や暮らしに関する事		51.2
6 地球温暖化など環境に関する事		10.1
7 ボランティア活動に関する事		6.9
8 災害対策に関する事		18.1
9 農林水産業に関する事		8.3
10 工業や伝統工芸に関する事		3.4
11 交通安全や防犯など警察に関する事		13.6
12 県議会に関する事		7.9
13 その他		2.9

(この設問は今回調査から)

県民だより「さわやか愛媛」にどのようなテーマを取り上げてほしいかを聞いたところ、「福祉、医療に関する事」(61.9%)、「県の行事・イベント・施設の紹介」(56.4%)及び「消費生活や暮らしに関する事」(51.2%)と答えた人の割合が特に多く、以下「県の施策の紹介」(24.0%)、「災害対策に関する事」(18.1%)、「交通安全や防犯など警察に関する事」(13.6%)の順となっている。

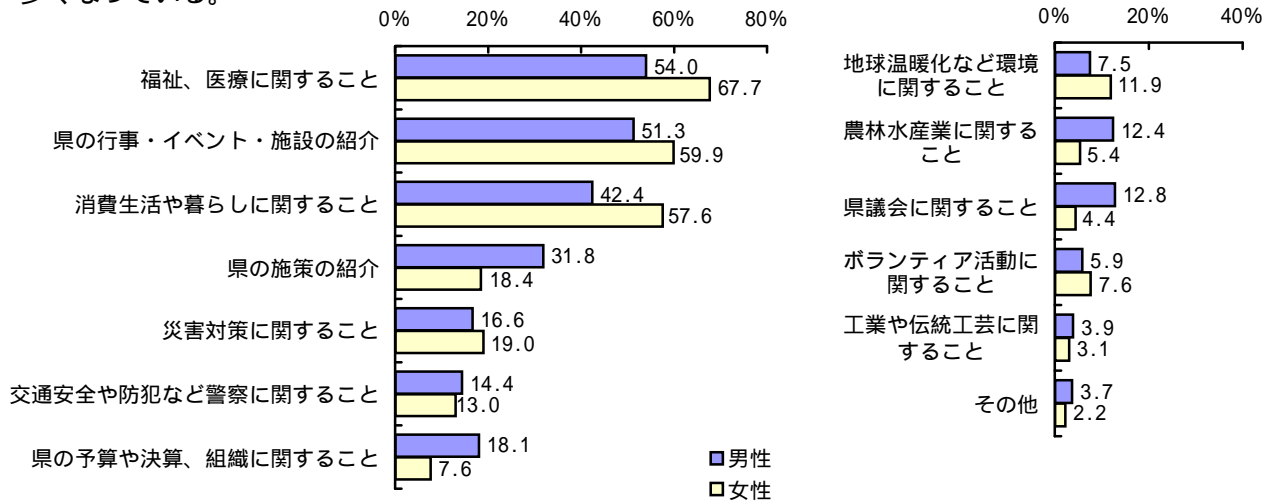




【性別】

性別にみると、男女共に「福祉、医療に関すること」と答えた人の割合が最も多く、特に女性（67.7%）の方が男性（54.0%）より13.7%多くなっている。

また、「県の行事・イベント・施設の紹介」、「消費生活や暮らしに関すること」、「地球温暖化など環境に関すること」などは女性の方が多くなっており、「県の施策の紹介」、「県の予算や決算、組織に関すること」、「農林水産業に関すること」、「県議会に関すること」などは男性の方が多くなっている。

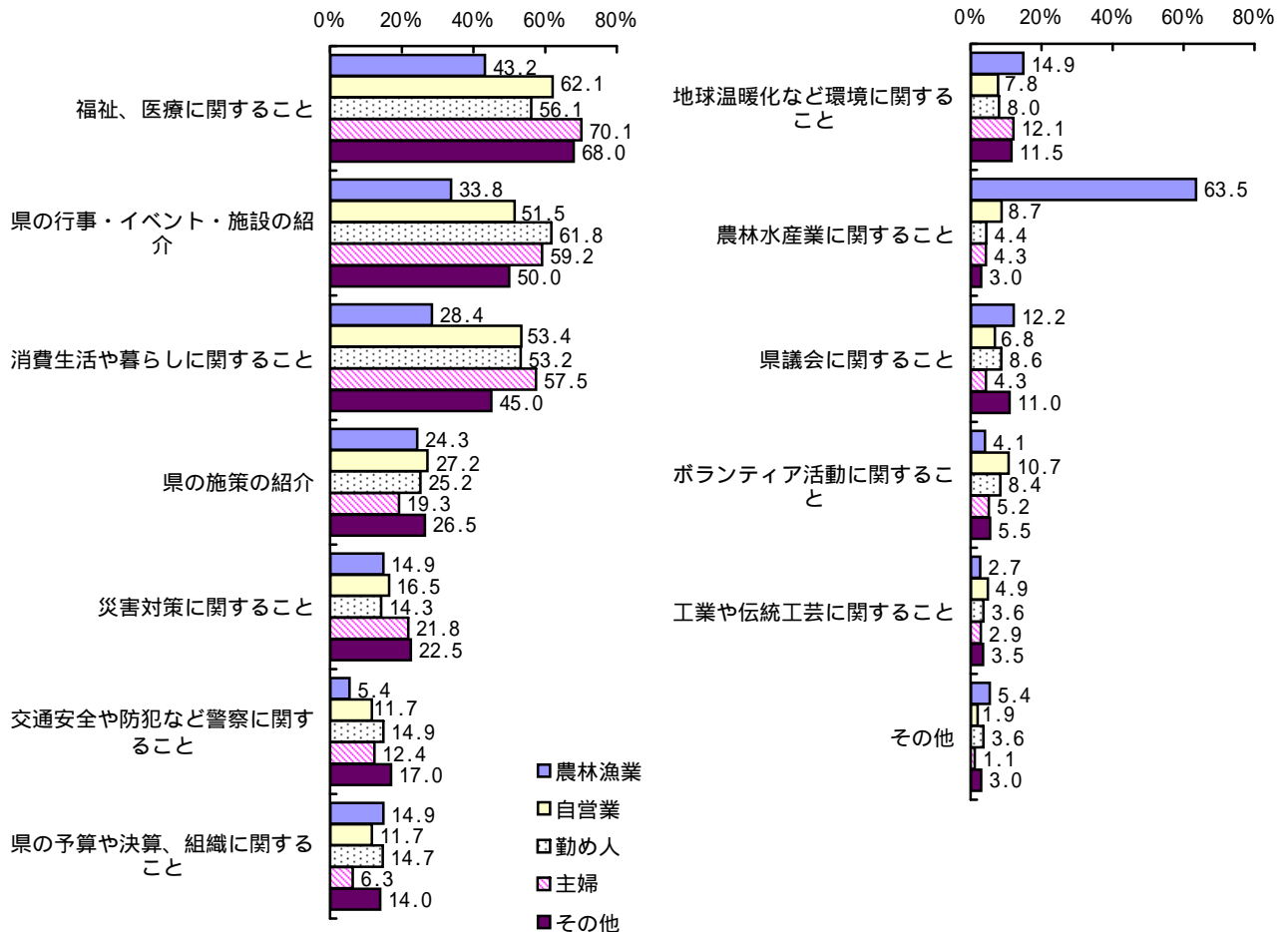


【職業別】

職業別にみると、自営業、主婦、その他では「福祉、医療に関すること」と答えた人の割合が、勤め人では「県の行事・イベント・施設の紹介」が、農林漁業では「農林水産業に関すること」が最も多くなっている。

また、農林漁業を除く全ての職種で「福祉、医療に関すること」と答えた人の割合が50%を超えているほか、「県の行事・イベント・施設の紹介」は勤め人、主婦で、「消費生活や暮らしに関すること」は自営業、勤め人、主婦で他の職種と比較して多くなっている。

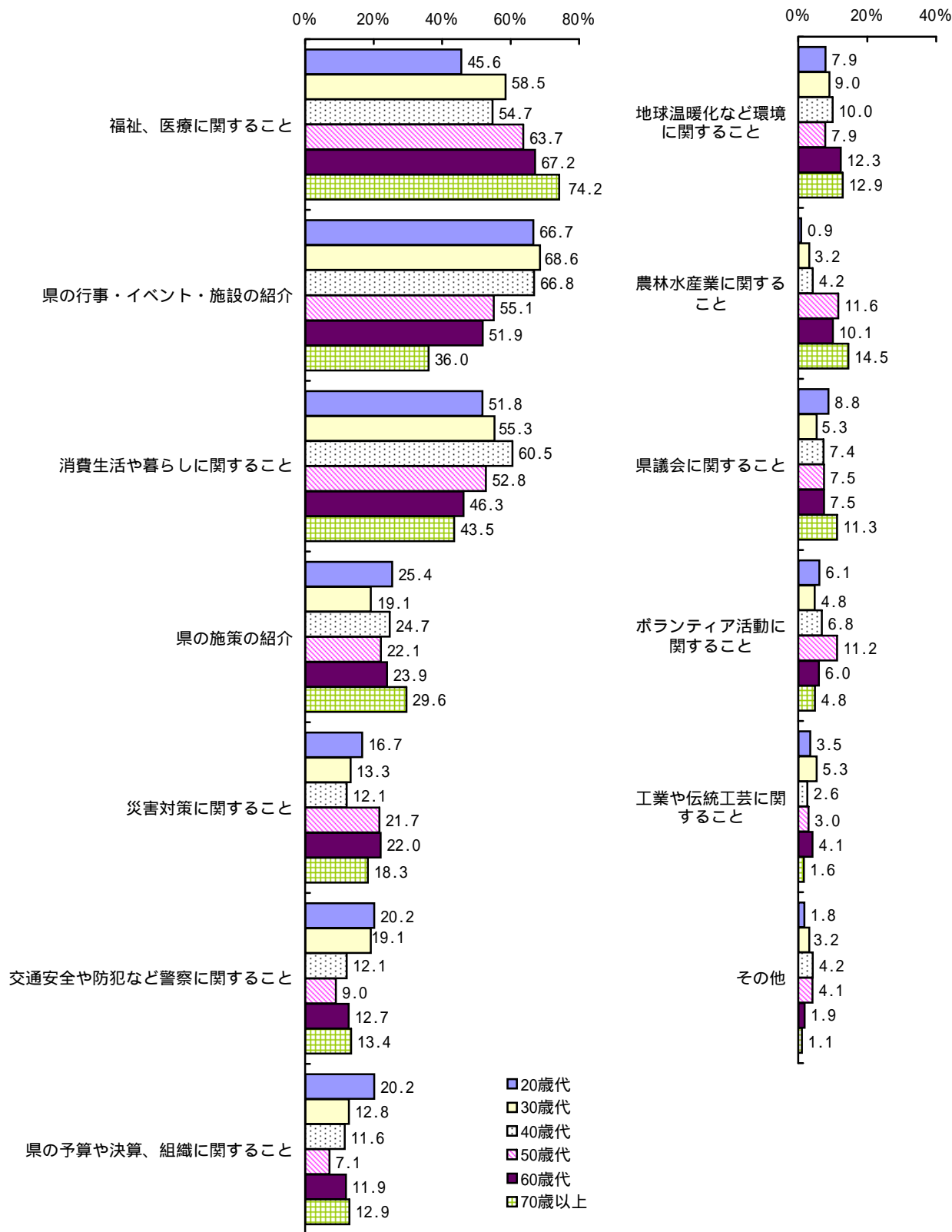
この他、農林漁業では上位3項目で他の職種と比較して特に少なくなっているが、「農林水産業に関すること」は63.5%と特に多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以上では「福祉、医療に関すること」と答えた人の割合が、40歳代以下では「県の行事・イベント・施設の紹介」が最も多くなっている。

また、「福祉、医療に関すること」と答えた人の割合は20歳代で、「県の行事・イベント・施設の紹介」は50歳代以上で、「消費生活や暮らしに関すること」は60歳代以上で他の年齢層と比較して少なくなっている。



## 問19 県政情報の情報源

あなたは、県の仕事や内容を主に何によって知ることが多いですか。次の中から三つまで選んで番号を で囲んでください。

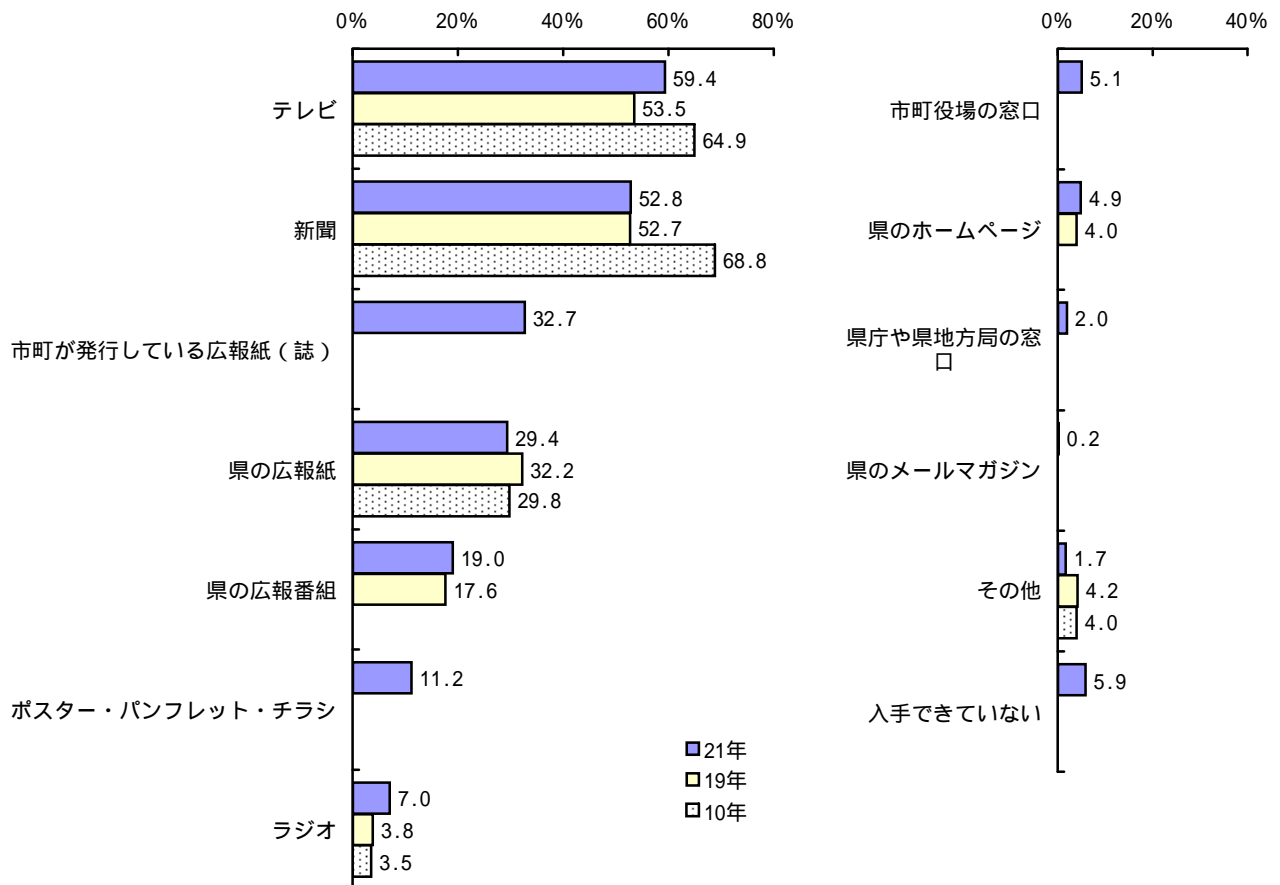
	(複数回答)	(%)
1 県の広報紙		29.4
2 県の広報番組(テレビ・ラジオ)		19.0
3 新聞		52.8
4 テレビ		59.4
5 ラジオ		7.0
6 県のホームページ(インターネット)		4.9
7 県のメールマガジン		0.2
8 ポスター・パンフレット・チラシ		11.2
9 県庁や県地方局の窓口		2.0
10 市町役場の窓口		5.1
11 市町が発行している広報紙(誌)		32.7
12 その他		1.7
13 入手できていない		5.9

(「7県のメールマガジン」から「11市町が発行している広報紙(誌)」及び「13入手できていない」は今回調査から)

県の仕事や内容をおもに何によって知ることが多いかを聞いたところ、「テレビ」と答えた人の割合が59.4%と最も多く、以下「新聞」(52.8%)、「市町が発行している広報紙(誌)」(32.7%：今回調査から)、「県の広報紙」(29.4%)となっている。

また、前回調査と比較すると、「テレビ」と答えた人の割合が5.9%増加(平成10年調査より5.5%減少)しているほか、「新聞」は50%強(平成10年調査より16.0%減少)、「県の広報紙」は30%前後で推移している。

このほか、「県のホームページ」は、前回調査より0.9%増加し、前々回(平成17年調査：3.3%)から着実に増加している。

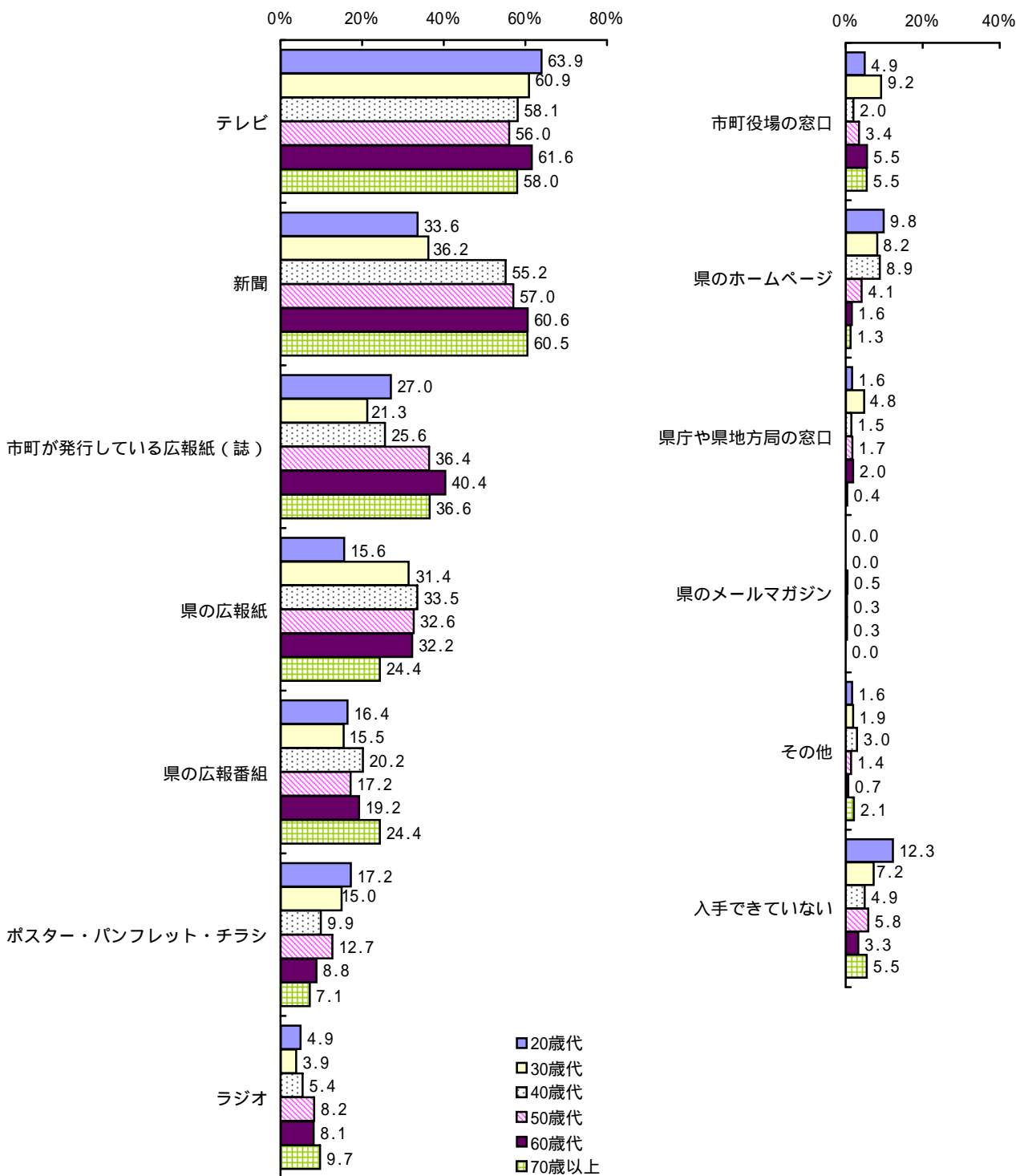


【年齢別】

年齢別にみると、40歳代以下、60歳代では「テレビ」と答えた人の割合が最も多く、中でも60歳代では前回調査より13.9%も増加している。50歳代、70歳以上では「新聞」が最も多くなっている。

また、「新聞」と答えた人の割合は40歳代以上では50%を超えているが、30歳代以下では35%程度となっている。

この他、「市町が発行している広報紙（誌）」と答えた人の割合は50歳代以上で、「県の広報紙」は30歳代から60歳代で他の年齢層と比較して多くなっており、「ポスター・パンフレット・チラシ」、「県のホームページ」は概ね年齢が低くなるほど多くなっている。特に「県のホームページ」は、全体では4.9%にすぎないが、40歳代以下では8.0%を超えている。

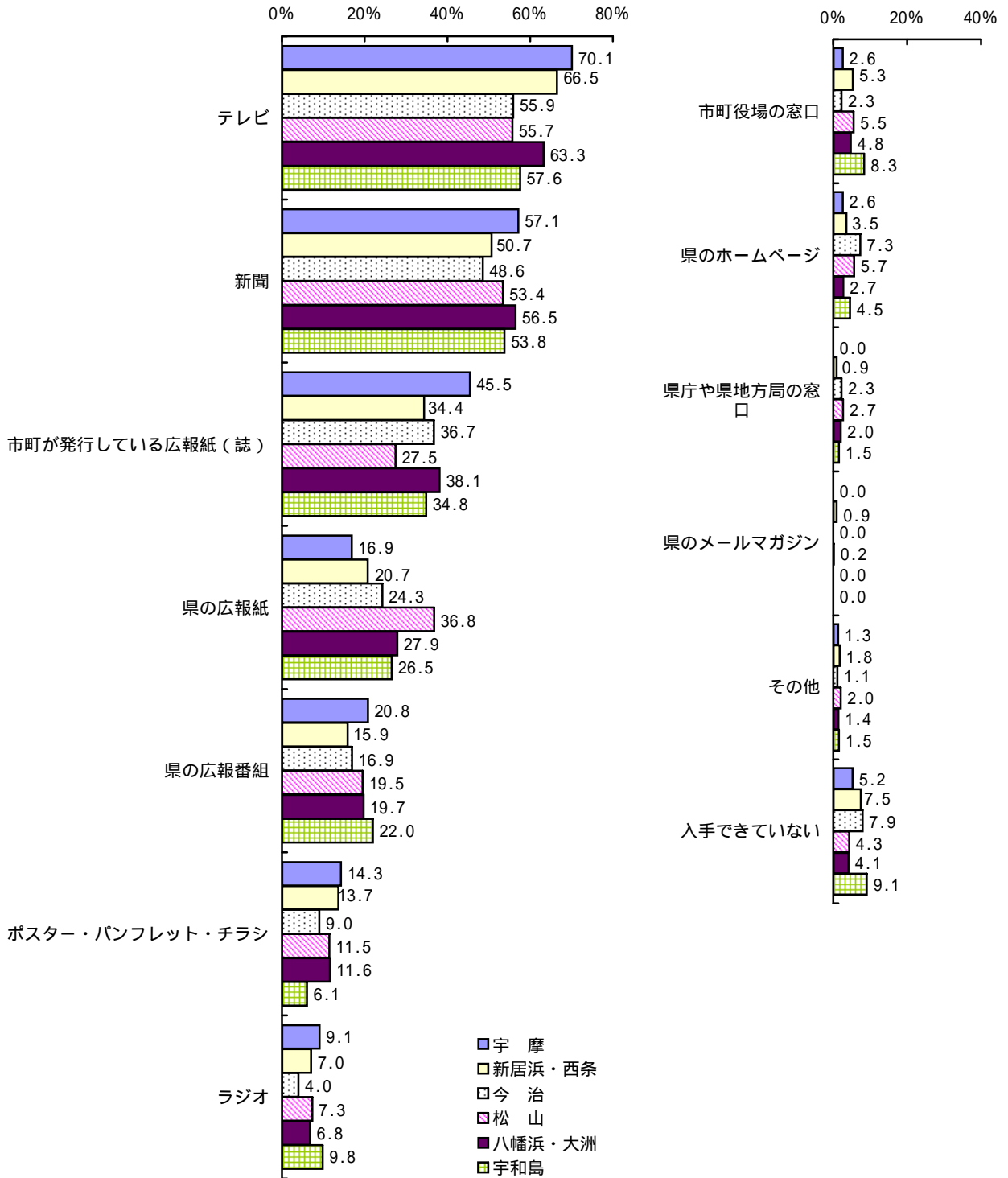


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「テレビ」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇摩圏域（70.1%：前回調査より16.3%増加）、新居浜・西条圏域（66.5%：前回調査より14.6%増加）、八幡浜・大洲圏域（63.3%）で特に多くなっている。

また、「市町が発行している広報紙（誌）」と答えた人の割合は宇摩圏域で、「県の広報紙」は松山圏域で他の圏域と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、宇摩圏域で「新聞」が12.9%増加しているが、「県の広報紙」は25.4%も減少している。



## 問20 今後の広報活動の取組み

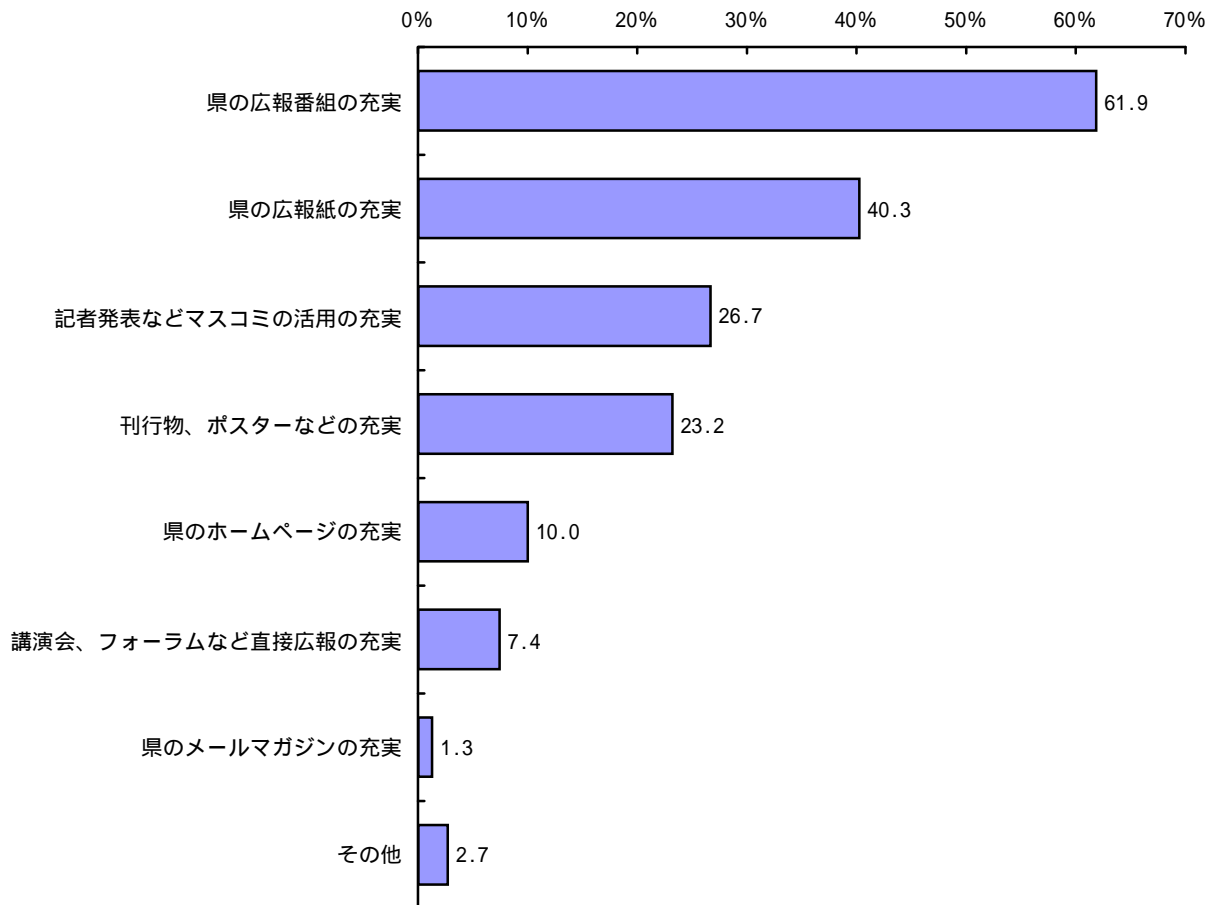
あなたは、より多くの県民の方が県政に関する情報を得るためには、どのような広報に取り組めば良いと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

1 県の広報紙の充実 (発行回数やページ数の増)	40.3
2 県の広報番組(テレビ・ラジオ)の充実 (放送回数や放送時間の増)	61.9
3 記者発表などマスコミの活用の充実	26.7
4 講演会、フォーラム、県政出前講座など 直接広報の充実	7.4
5 県のホームページの充実	10.0
6 県のメールマガジンの充実 (発行回数や掲載項目の増)	1.3
7 刊行物、ポスター、パンフレットの充実 (種類や部数の増)	23.2
8 その他	2.7

(この設問は今回調査から)

より多くの県民の方が県政に関する情報を得るためには、どのような広報に取り組めば良いと思うかを聞いたところ、「県の広報番組(テレビ・ラジオ)の充実」と答えた人の割合が61.9%と最も多く、以下「県の広報紙の充実」(40.3%)、「記者発表などマスコミの活用の充実」(26.7%)、「刊行物、ポスター、パンフレットの充実」(23.2%)の順となっている。

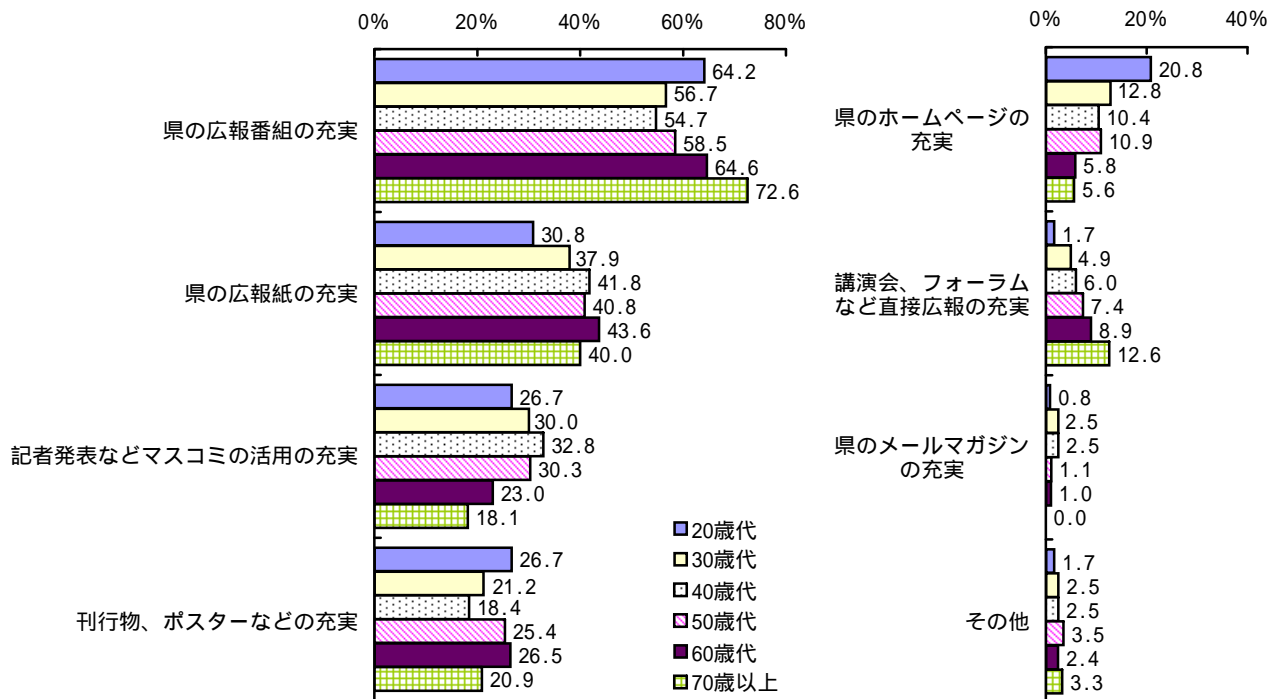


【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「県の広報番組（テレビ・ラジオ）の充実」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代（64.2%）、60歳代（64.6%）、70歳以上（72.6%）で他の年齢層と比較して多くなっている。

また、「県の広報紙の充実」と答えた人の割合は40歳代以上で、「記者発表などマスコミの活用の充実」は30歳代から50歳代で、「刊行物、ポスターなどの充実」は20歳代、50歳代、60歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

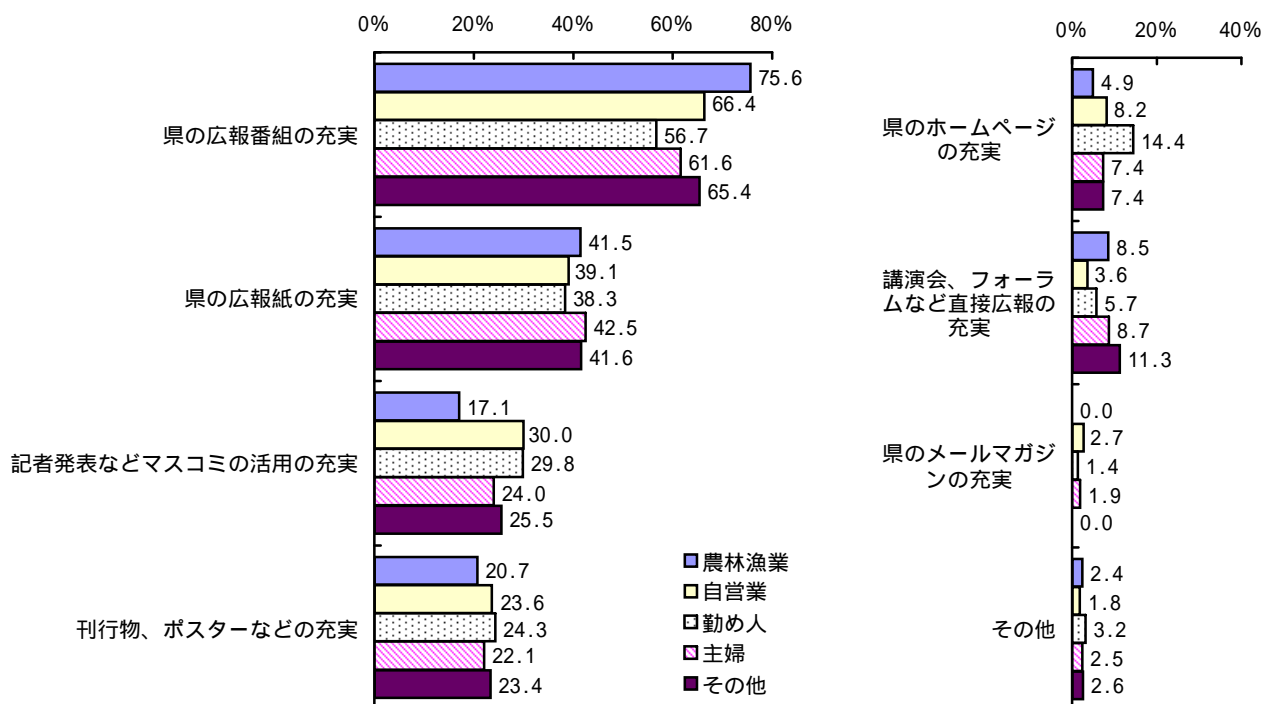
この他、「県のホームページの充実」と答えた人の割合は概ね年齢が低いほど多くなっており、特に、20歳代では20.8%に達している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「県の広報番組（テレビ・ラジオ）の充実」と答えた人の割合が最も多く、中でも農林漁業（75.6%）で他の職種と比較して多くなっている。

また、「県の広報紙の充実」と答えた人の割合は全ての職種で40%前後の水準となっているほか、「記者発表などマスコミの活用の充実」は自営業、勤め人で、「県のホームページの充実」は勤め人で他の職種と比較して多くなっている。

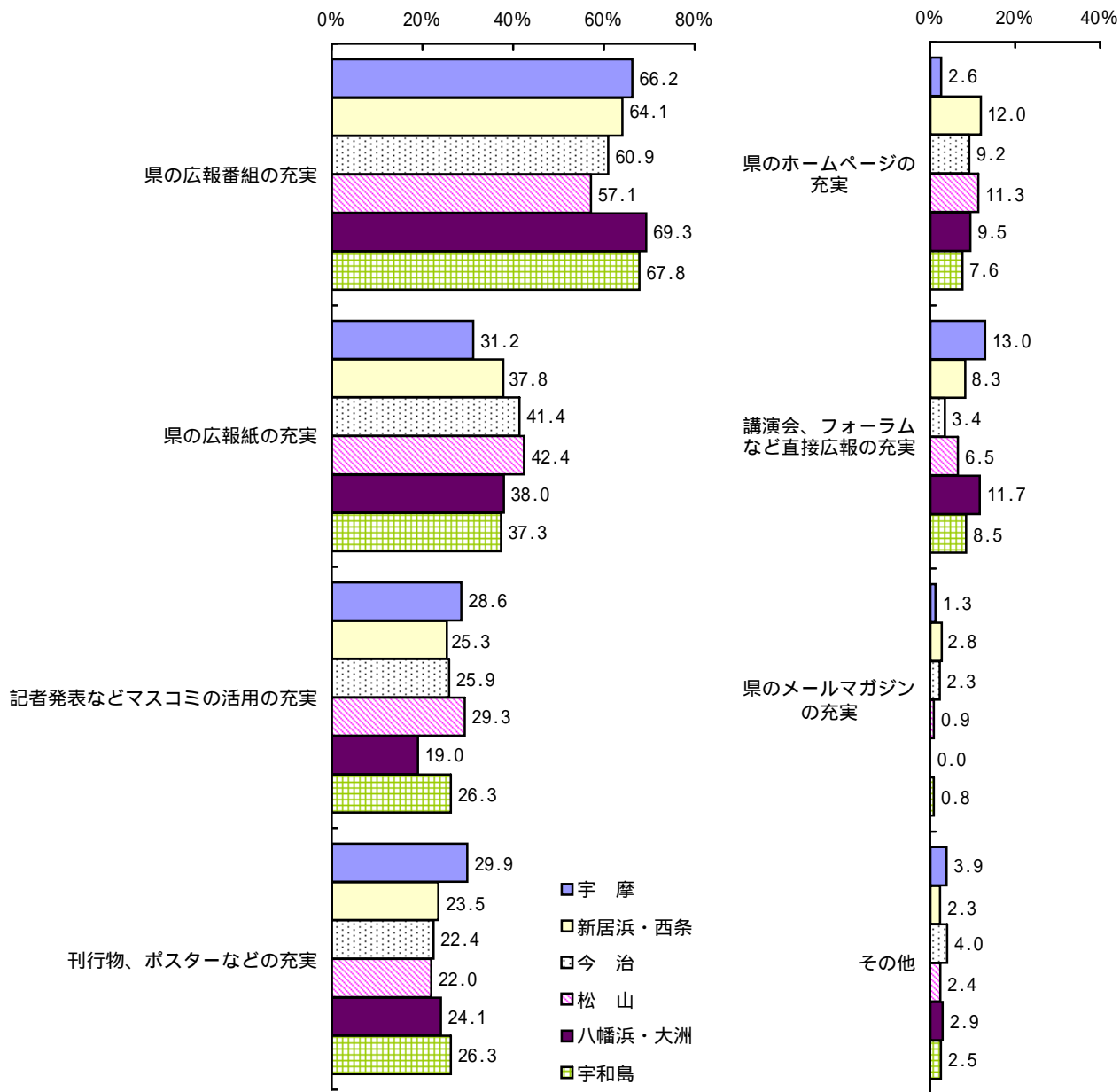




【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「県の広報番組（テレビ・ラジオ）の充実」と答えた人の割合が最も多く、中でも宇摩圏域（66.2%）、八幡浜・大洲圏域（69.3%）、宇和島圏域（67.8%）で他の圏域と比較して多くなっている。

また、「県の広報紙の充実」と答えた人の割合は今治圏域、松山圏域で、「記者発表などマスコミの活用の充実」は宇摩圏域、松山圏域で、「刊行物、ポスターなどの充実」は宇摩圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



問21 県政について知りたい情報

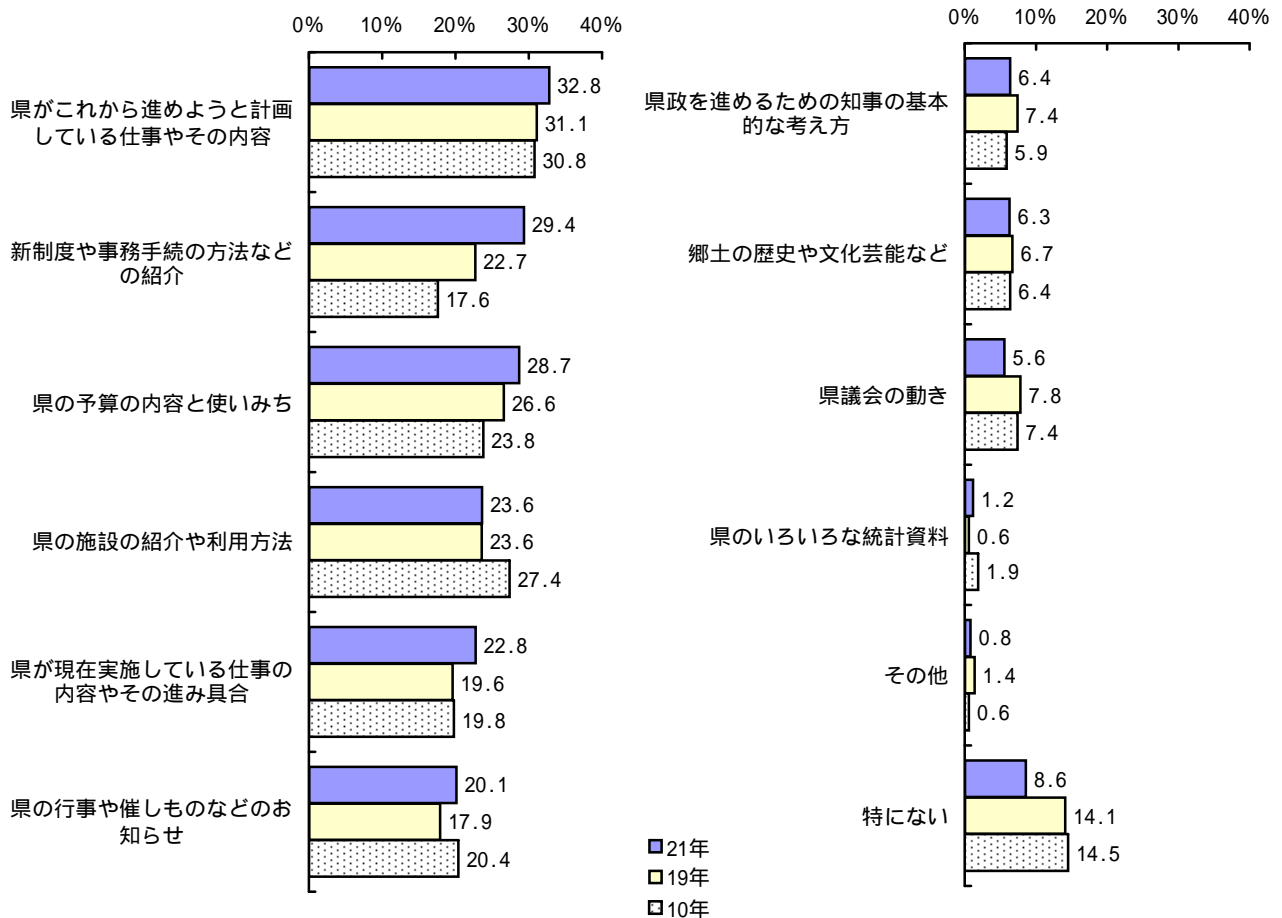
あなたが、県政について日ごろから特に知りたいと思っていることはどのようなことですか。次の中から二つまで選んで番号を で囲んでください。

(複数回答) (%)

1 県議会の動き	5.6
2 県の予算の内容と使いみち	28.7
3 県が現在実施している仕事の内容やその進み具合	22.8
4 新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介	29.4
5 県の施設の紹介や利用方法	23.6
6 県の行事や催しものなどのお知らせ	20.1
7 郷土の歴史や文化芸能など	6.3
8 県のいろいろな統計資料	1.2
9 県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容	32.8
10 県政を進めるための知事の基本的な考え方	6.4
11 その他	0.8
12 特にない	8.6

県政について日ごろから特に知りたいと思っていることを聞いたところ、「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」と答えた人の割合が32.8%と最も多く、以下「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」(29.4%)、「県の予算の内容と使いみち」(28.7%)、「県の施設の紹介や利用方法」(23.6%)となっている。

また、前回調査と比較すると、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」と答えた人の割合が6.7%増加(平成10年調査より11.8%増加)し、4位から2位に上昇しているほか、「県の予算の内容と使いみち」が2.1%増加、「県が現在実施している仕事の内容やその進み具合」が3.2%増加している。

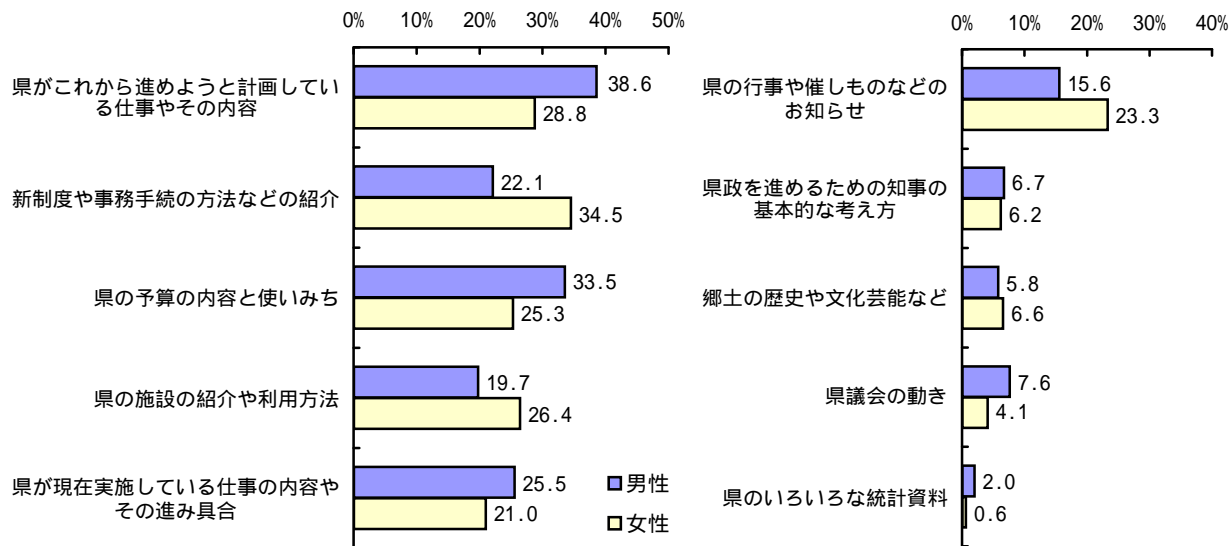


【性別】

性別にみると、男性では「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」と答えた人の割合が最も多く、女性より9.8%多くなっている。一方、女性では「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」が最も多く、男性より12.4%多くなっている。

この他、「県の予算の内容と使いみち」、「県が現在実施している仕事の内容やその進み具合」、「県議会の動き」などは男性の方が、「県の施設の紹介や利用方法」、「県の行事や催しものなどのお知らせ」などは女性の方が多くなっている。

また、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」と答えた人の割合は男女共に前回調査より比較的大幅に増加している。（男性：4.5%、女性：8.2%増加）

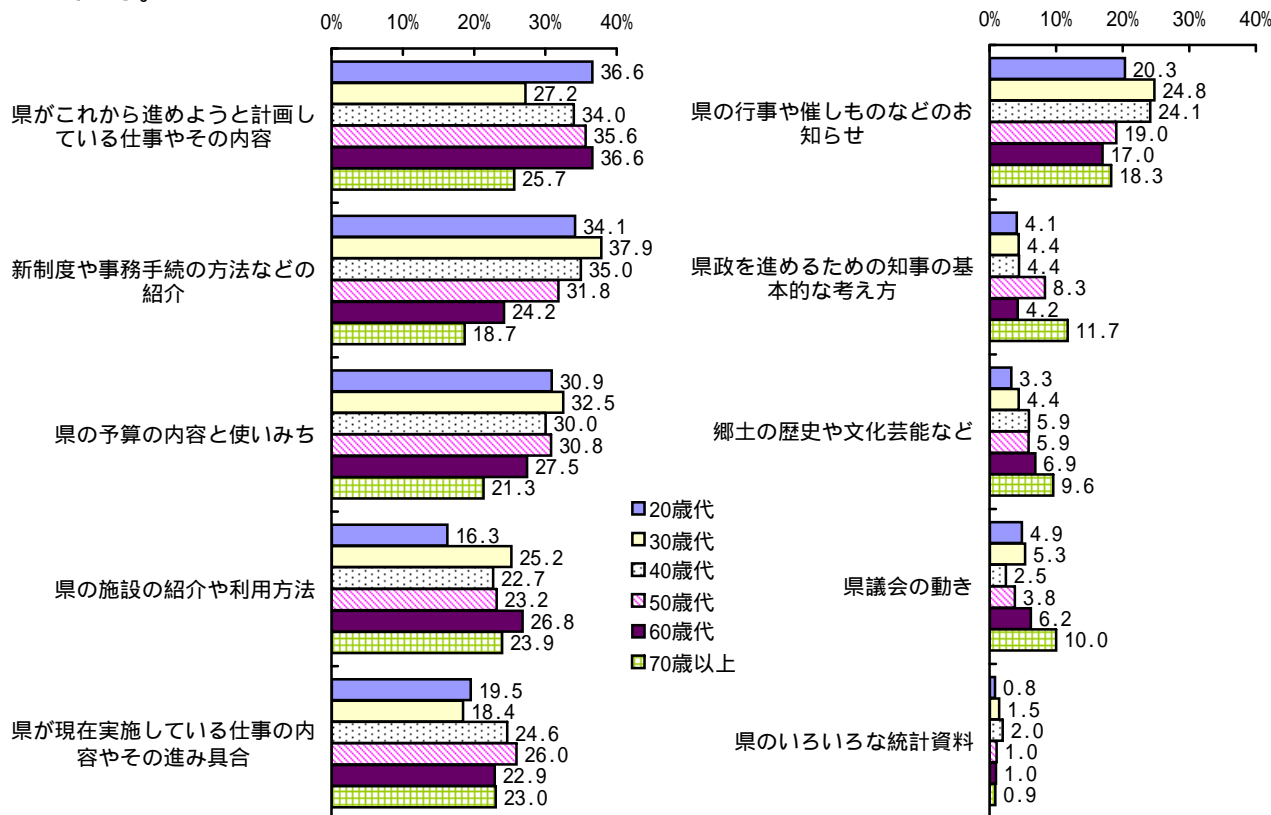


【年齢別】

年齢別にみると、20歳代、50歳代以上では「県がこれから進めていこうと計画している仕事やその内容」と答えた人の割合が最も多く、中でも20歳代では前回調査より10.5%も増加している。30歳代、40歳代では「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」が最も多くなっている。

また、上位3項目では70歳以上で、「県の施設の紹介や利用方法」は20歳代で他の年齢層と比較して少なくなっているほか、「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」は50歳代以下で、「県が現在実施している仕事の内容やその進み具合」は40歳代以上で、「県の行事や催しものなどのお知らせ」は30歳代、40歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると「新しくできた制度や事務手続の方法などの紹介」と答えた人の割合は、全ての年齢層で増加しており、中でも20歳代（9.5%増加）、30歳代（11.2%増加）で大幅に増加している。



問22 県民の声を県政に反映させる手段

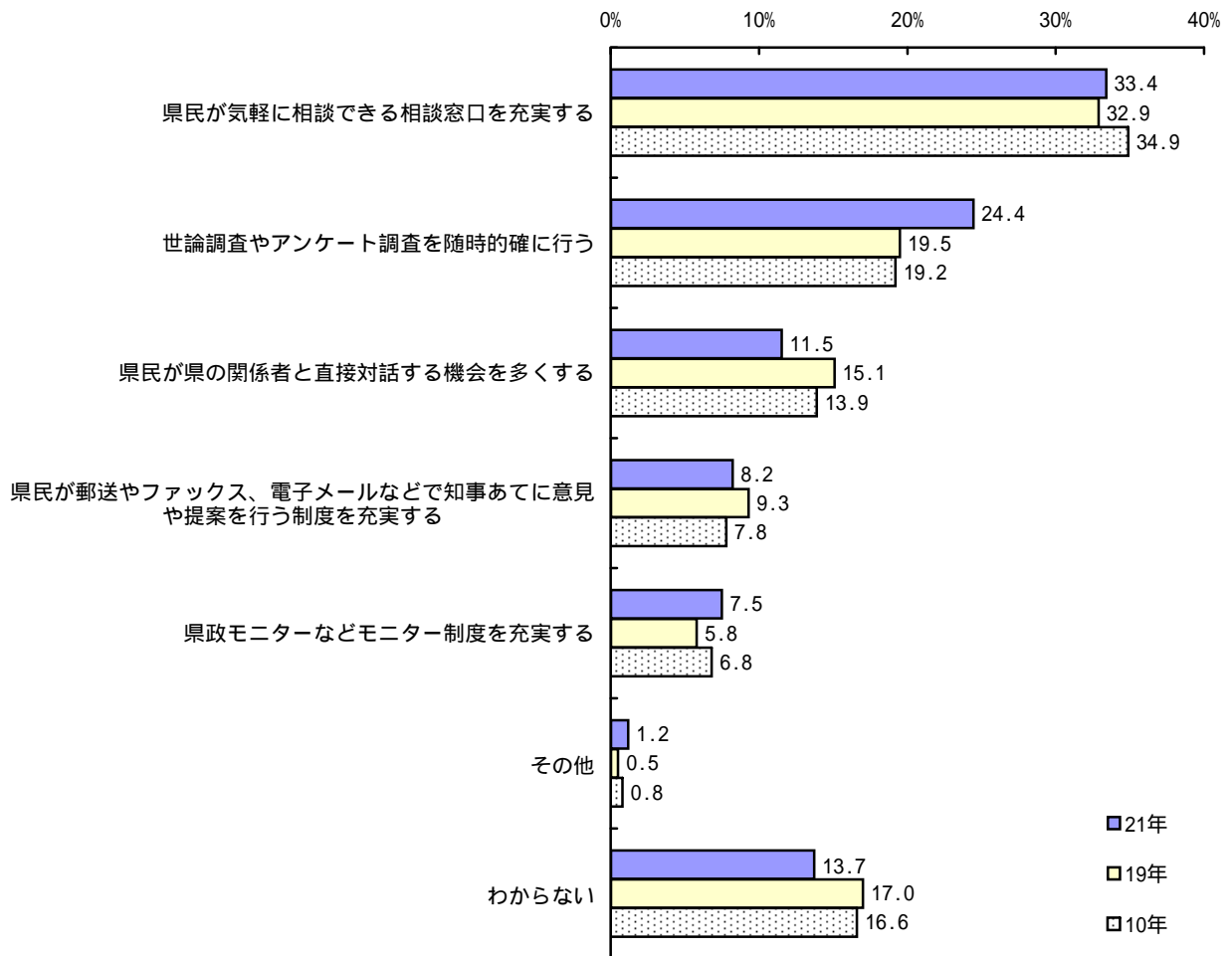
あなたが、県民の皆さんからの意見や要望を県政に反映させる手段として、最も良いと思われるものは何ですか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

(%)

1	世論調査やアンケート調査を随時的確に行う	24.4
2	県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする	11.5
3	県政モニターなどモニター制度を充実する	7.5
4	県民が郵送やファックス、電子メールなどで知事あてに意見や提案を行う制度を充実する	8.2
5	県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する	33.4
6	その他	1.2
7	わからない	13.7

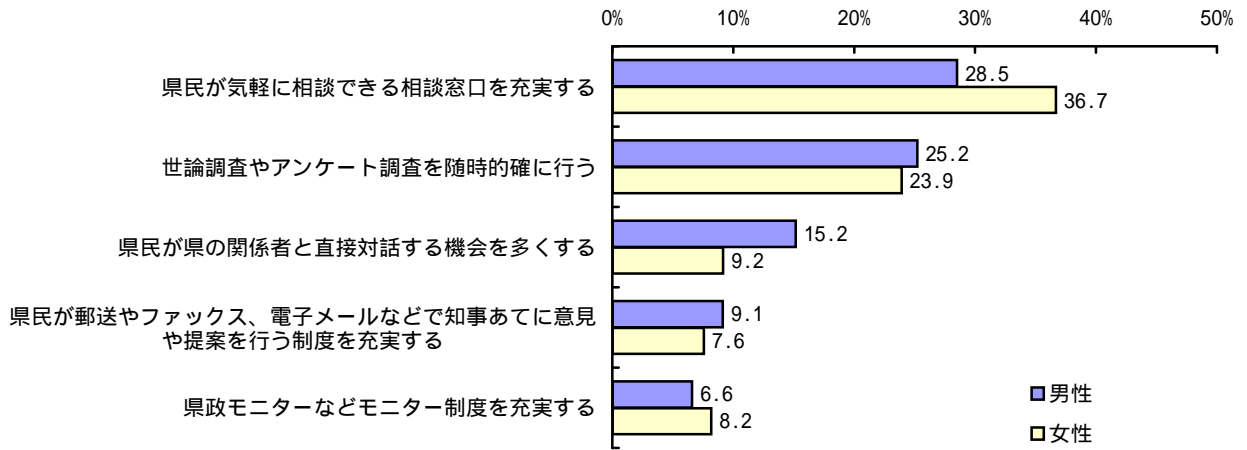
県民の意見や要望を県政に反映させる手段として、最も良いと思われる方法を聞いたところ、「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が33.4%と最も多く、以下「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」(24.4%)、「県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする」(11.5%)、「県民が郵送やファックス、電子メールなどで知事あてに意見や提案を行う制度を充実する」(8.2%)となっている。

また、前回調査と比較すると、「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」と答えた人の割合が4.9%増加し、「県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする」は3.6%減少している。



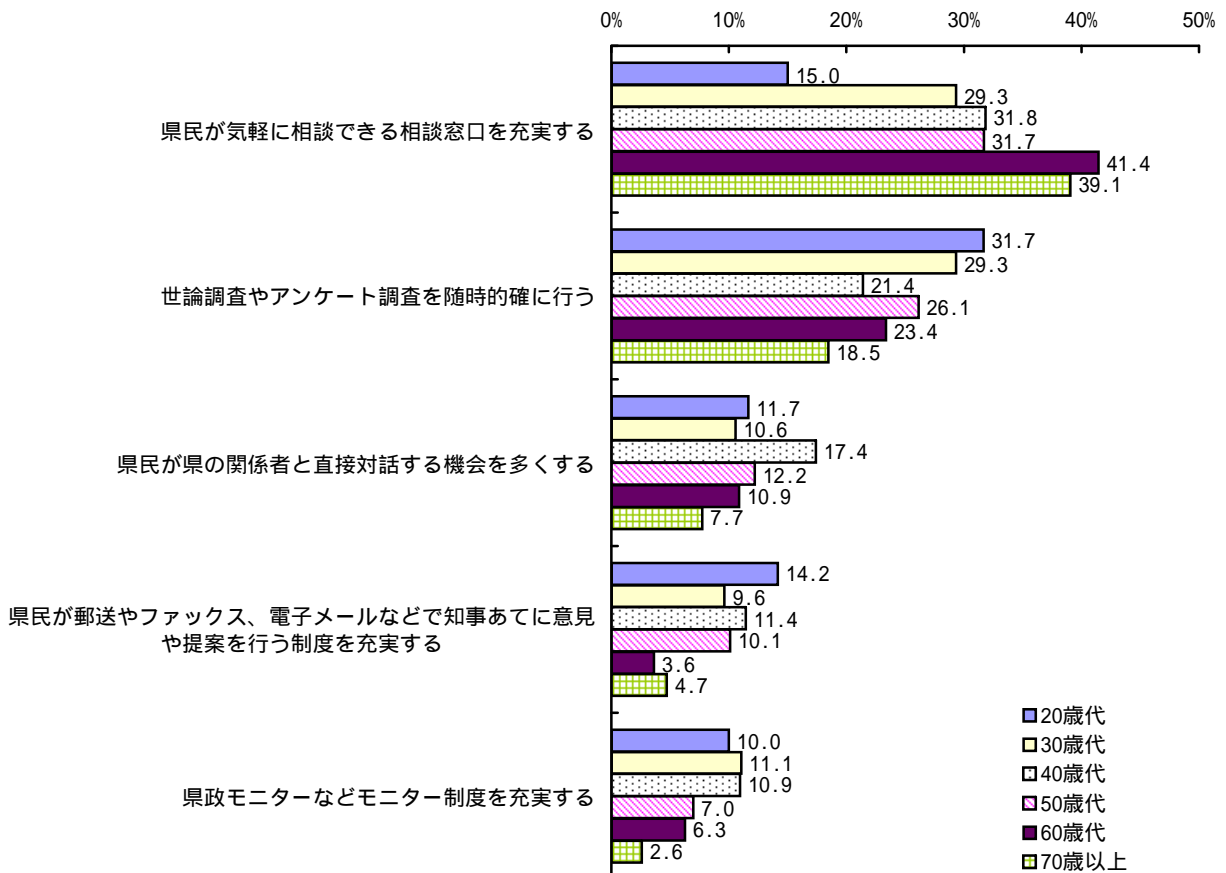
【性別】

性別にみると、男女共に「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が最も多く、特に女性（36.7%）の方が男性（28.5%）より8.2%多くなっている。  
 また、「県民が県の関係者と直接対話する機会を多くする」と答えた人の割合は男性（15.2%）の方が女性（9.2%）より6.0%多くなっている。  
 この他、前回調査と比較すると、「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」と答えた人の割合が男女共に比較的大きく増加（男性4.2%増加、女性5.2%増加）している。



【年齢別】

年齢別にみると、40歳代以上で「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が最も多くなっており、中でも60歳代以上で特に多くなっている。20歳代では「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」が最も多く、30歳代ではこれら2項目が同率で多くなっている。  
 また、「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合は20歳代で他の年齢層と比較して特に少なくなっているほか、「県民が県の関係者との直接対話する機会を多くする」は40歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。  
 この他、前回調査と比較すると、「県民が気軽に相談できる相談窓口を充実する」と答えた人の割合が20歳代（11.1%減少）、50歳代（10.5%減少）、60歳代（7.4%増加）で、「世論調査やアンケート調査を随時的確に行う」は20歳代（10.0%増加）、50歳代（8.9%増加）で大幅に変化している。



### 問23 県民の声の伝達方法

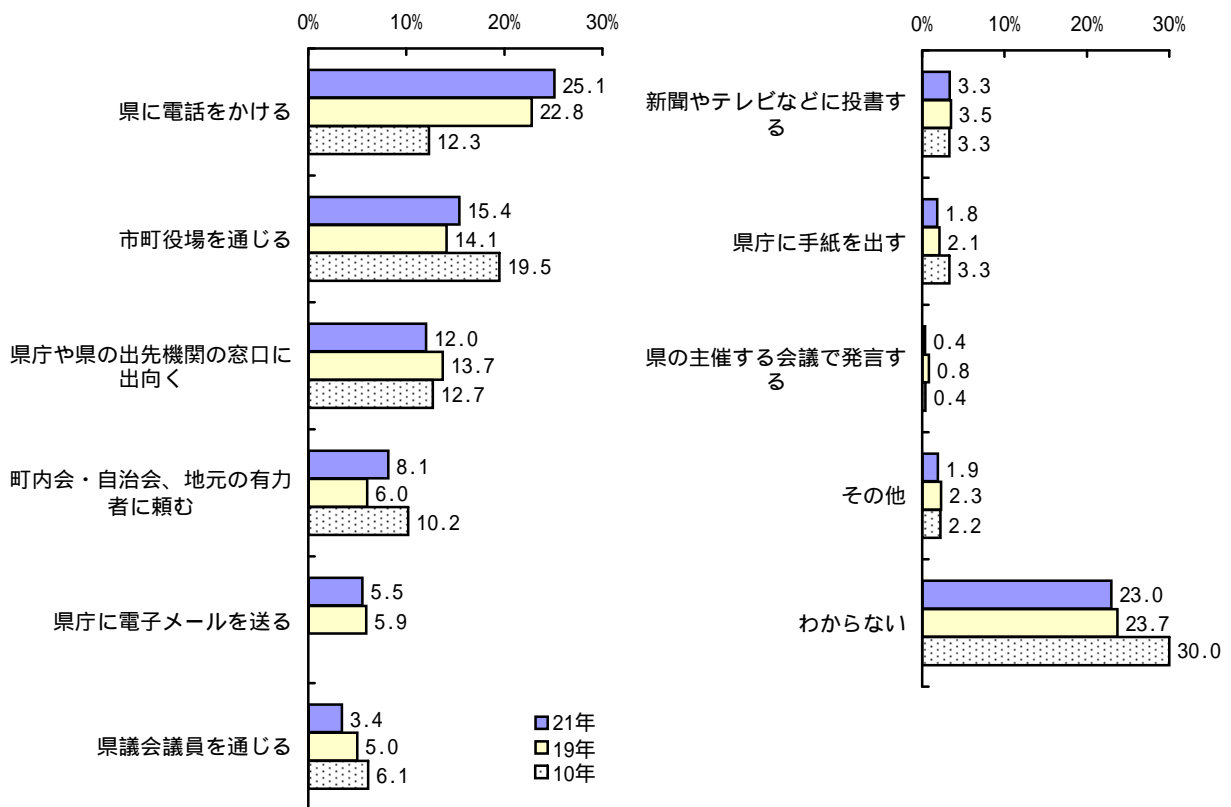
あなたは、県に意見、要望、苦情を伝えたいとき、どのような方法をとられますか。次の中から一つ選んで番号を で囲んでください。

	(%)
1 県庁や県の出先機関の窓口に出向く	12.0
2 県庁に手紙を出す	1.8
3 県庁に電子メールを送る	5.5
4 県に電話をかける	25.1
5 県の主催する会議で発言する	0.4
6 市町役場を通じる	15.4
7 町内会・自治会、地元の有力者に頼む	8.1
8 県議会議員を通じる	3.4
9 新聞やテレビなどに投書する	3.3
10 その他	1.9
11 わからない	23.0

県に意見や要望、苦情を伝えたいとき、どのような方法をとるかを聞いたところ、「県に電話をかける」と答えた人の割合が25.1%と最も多く、以下「市町役場を通じる」(15.4%)、「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」(12.0%)などの順となっている。

また、前回調査と比較すると全ての項目において大きな変化が見られないが、平成10年調査と比較すると、「県に電話をかける」と答えた人の割合が12.8%増加しているほか、「市町役場を通じる」は4.1%減少している。

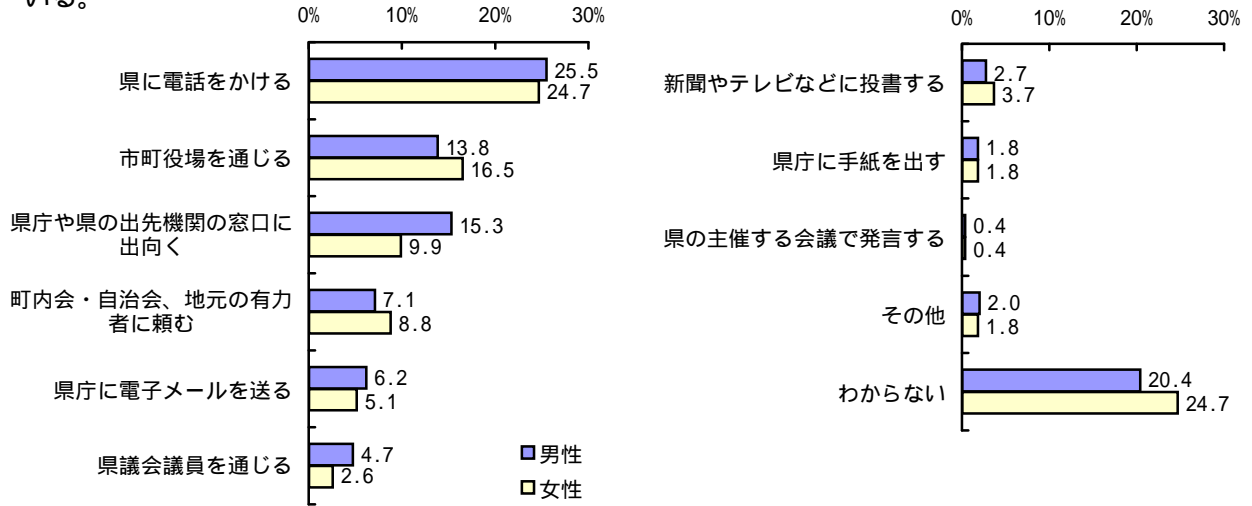
なお、「わからない」と答えた人の割合が23.0%となっている。





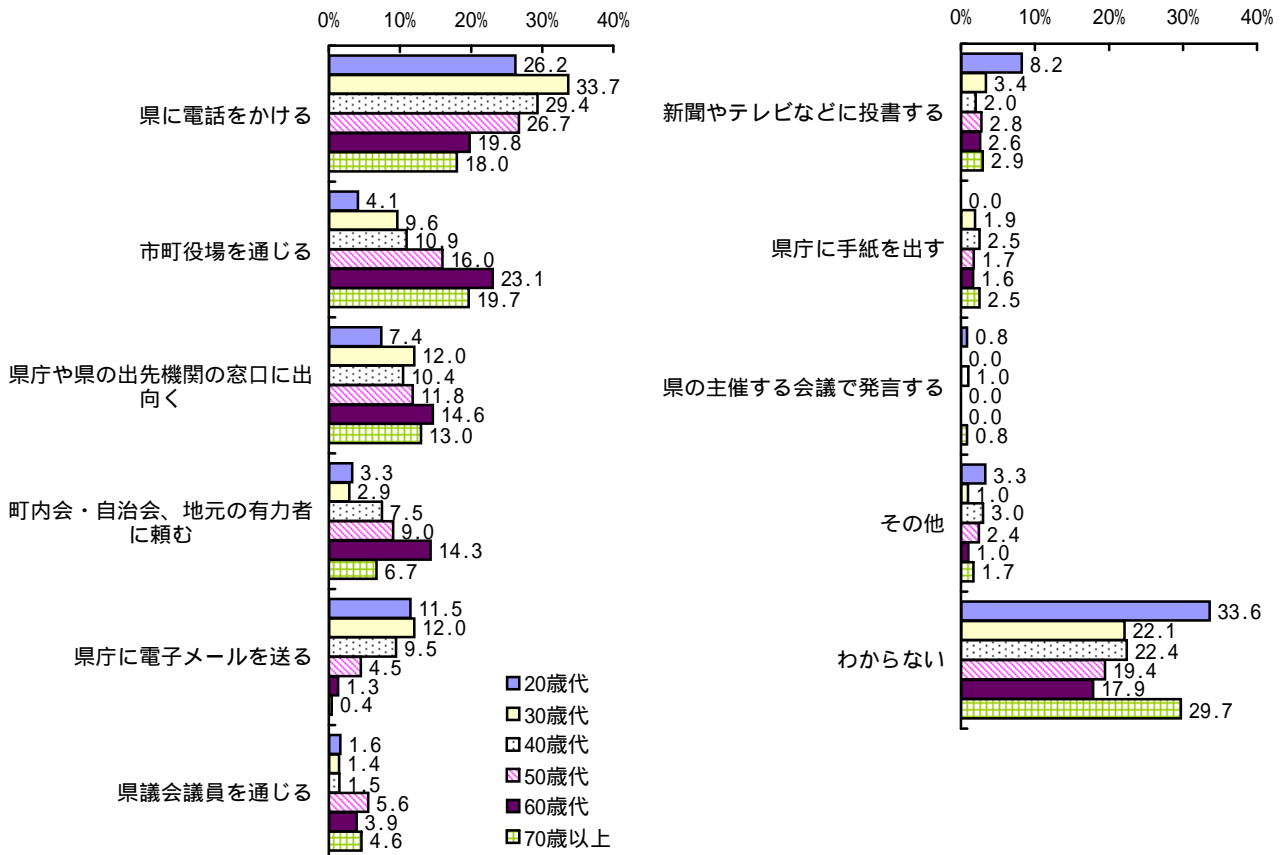
【性別】

性別にみると、男女共に「県に電話をかける」と答えた人の割合が最も多くなっている。  
 また、「市町役場を通じる」と答えた人の割合は女性（16.5%：前回調査より3.6%増加）の方が男性（13.8%：前回調査より2.5%減少）より2.7%多く、前回調査と逆転しているほか、「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」は男性（15.3%）の方が女性（9.9%）より5.4%多くなっている。  
 なお、「わからない」と答えた人の割合は、男性20.4%、女性24.7%で、女性の方が4.3%多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から50歳代では「県に電話をかける」と答えた人の割合が最も多く、中でも30歳代（33.7%）で他の年齢層と比較して多くなっている。60歳代以上では「市町役場を通じる」が最も多くなっている。  
 また、「県庁に電子メールを送る」と答えた人の割合が、全体では5.5%にすぎないが、40歳代以下では10%前後となっているほか、「町内会・自治会、地元の有力者に頼む」は60歳代で、「県議会議員を通じる」は50歳代以上で他の年齢層と比較して多くなっている。  
 この他、前回調査と比較すると、「市町役場を通じる」と答えた人の割合は20歳代（7.5%減少）、60歳代（4.9%増加）で、「県庁や県の出先機関の窓口に出向く」は20歳代（8.5%減少）で大幅に変化している。  
 なお、「わからない」と答えた人の割合は、20歳代（33.6%）、70歳以上（29.7%）で特に多くなっている。



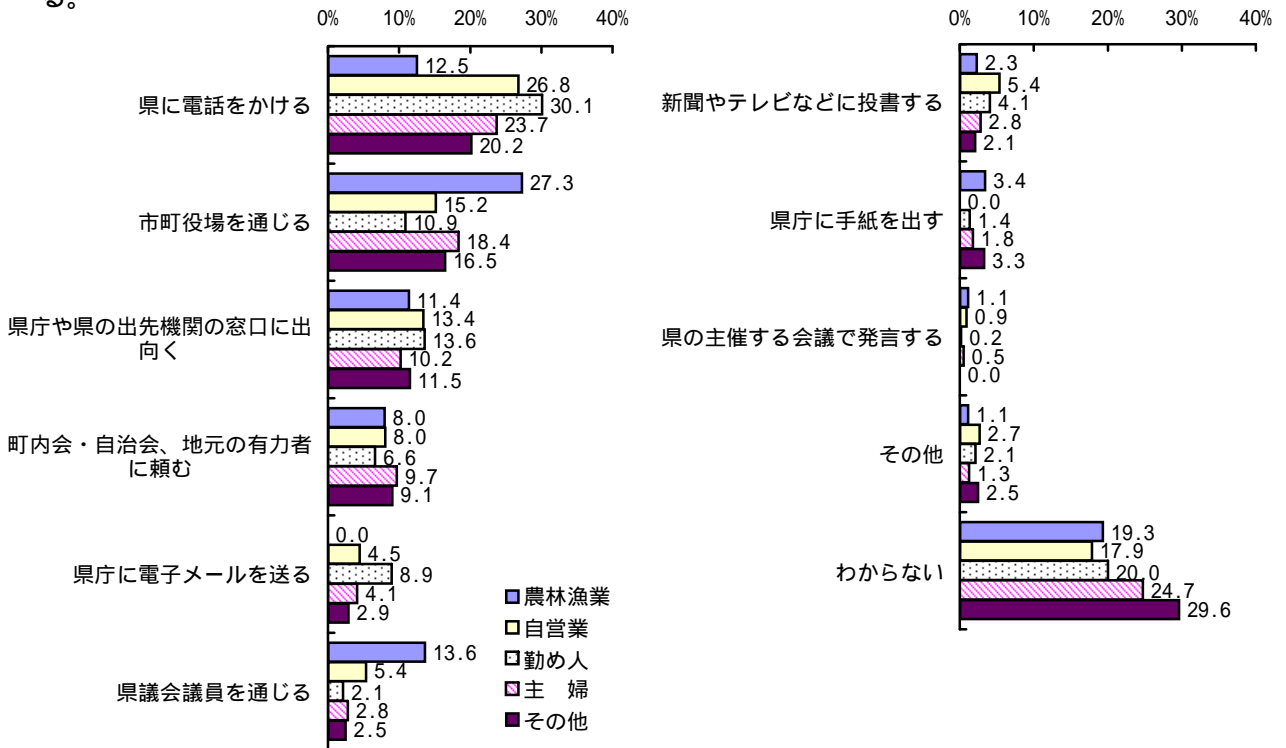


【職業別】

職業別にみると、農林漁業を除く全ての職種で「県に電話をかける」と答えた人の割合が最も多く、中でも自営業では前回調査より8.6%増加している。農林漁業では「市町役場を通じる」が最も多くなっている。

また、「県議会議員を通じる」と答えた人の割合が農林漁業（13.6%）で他の職種と比較して多くなっている。

なお、「わからない」と答えた人の割合は、主婦（24.7%）、その他（29.6%）で特に多くなっている。

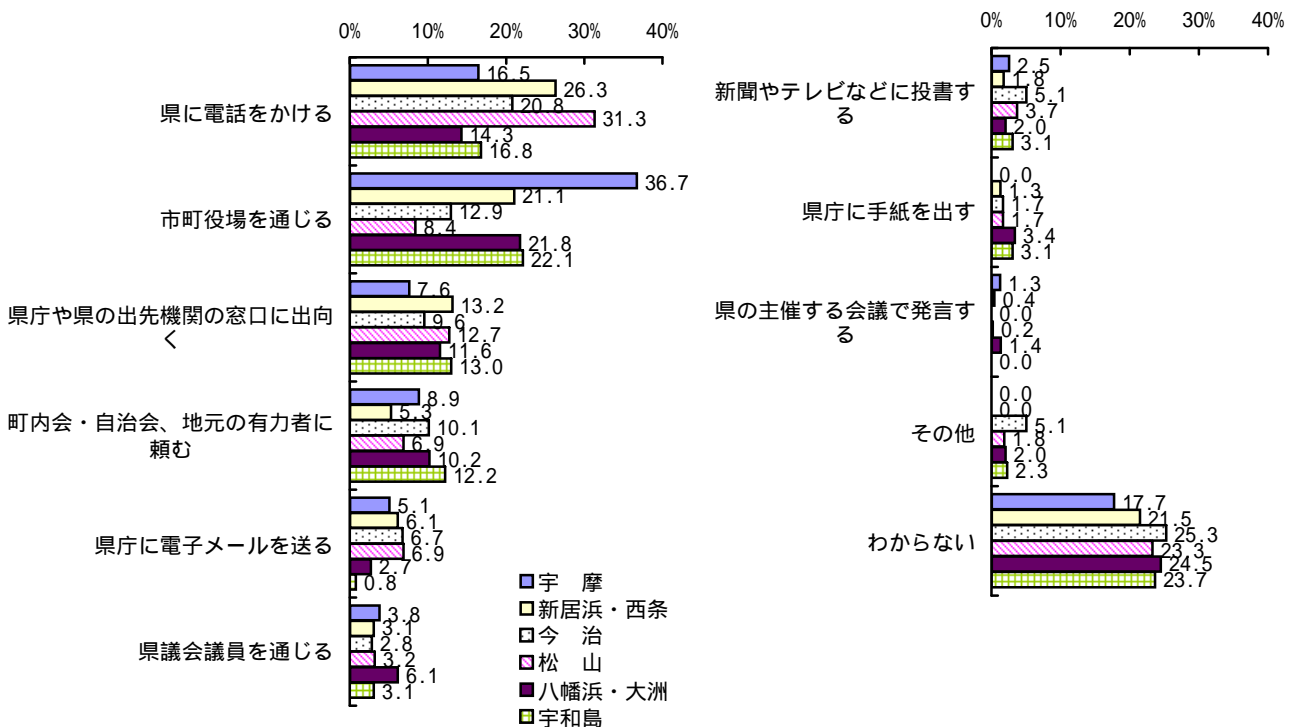


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、新居浜・西条圏域、今治圏域、松山圏域では「県に電話をかける」と答えた人の割合が最も多く、中でも新居浜・西条圏域（26.3%）、松山圏域（31.3%）で特に多くなっている。宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域、宇和島圏域では「市町役場を通じる」が最も多く、中でも宇摩圏域（36.7%）で特に多くなっている。

また、「市町役場を通じる」と答えた人の割合が今治圏域、松山圏域で他の圏域と比較して特に少なくなっている。

なお、「わからない」と答えた人の割合は、宇摩圏域を除く全ての圏域で20%を超えている。



## 問24 県政出前講座の周知度

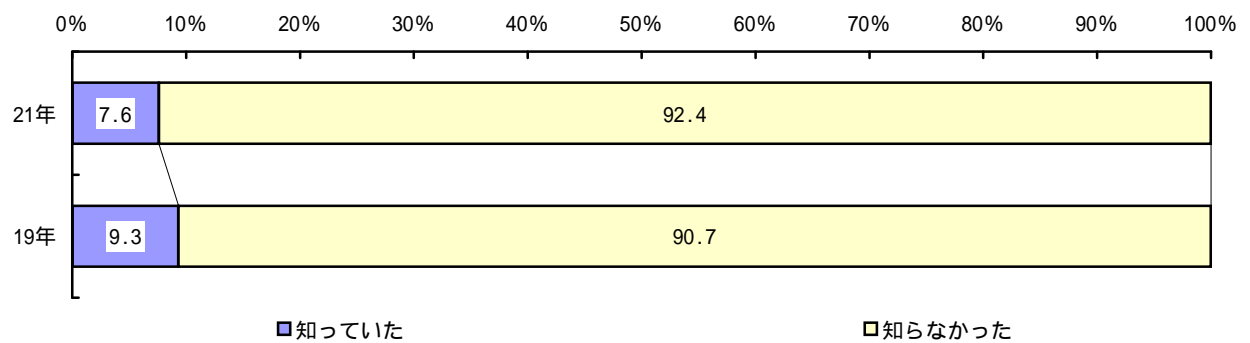
県では、県民の皆様や団体からのご要望に応じ、地域や職場で行われる集会に職員を派遣し、県の施策や事業等をご説明する「県政出前講座」を実施しています。

あなたは、この「県政出前講座」をご存知でしたか。次の中から一つ選んで番号を で 囲んでください。

	(%)
1 知っていた	7.6
2 知らなかった	92.4

県政出前講座について知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えた人の割合は7.6%で、残りの92.4%は「知らなかった」と答えている。

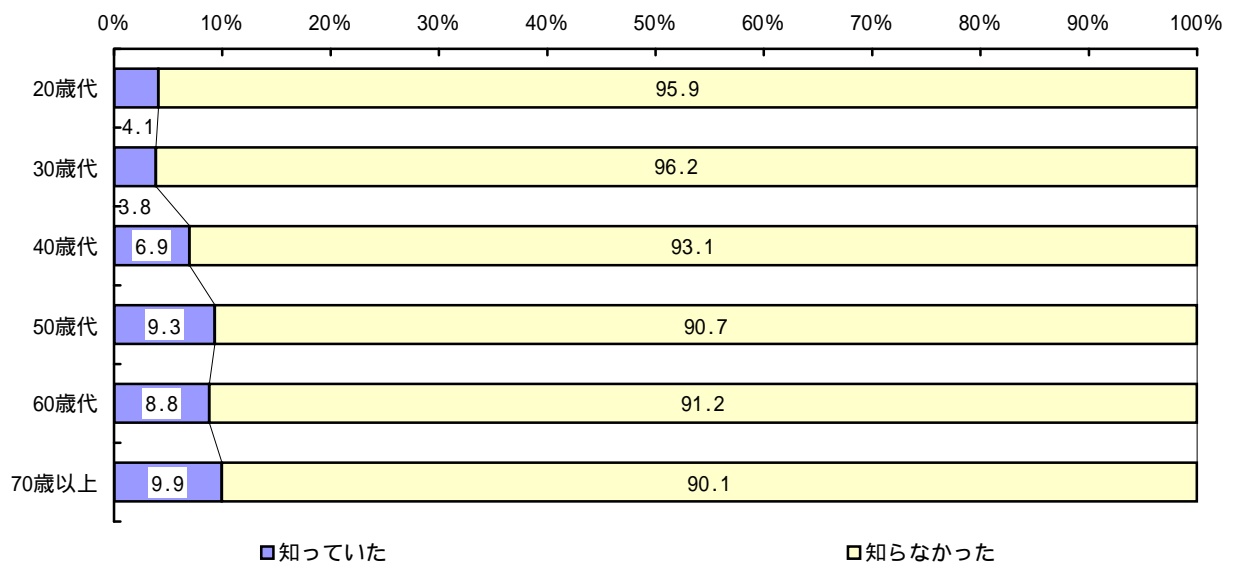
また、前回調査と比較すると、「知っていた」と答えた人の割合は、1.7%減少している。



### 【年齢別】

年齢別にみると、「知っていた」と答えた人の割合は概ね年齢が低いほど少なくなっており、中でも30歳代以下で4%程度となっている。逆に、「知らなかった」は概ね年齢が低いほど多くなっており、中でも30歳代で最も多くなっている。

また、前回調査と比較すると、「知っていた」と答えた人の割合が60歳代で8.3%減少し、20歳代では2.7%増加している。



問25 県政出前講座を利用したいかどうか

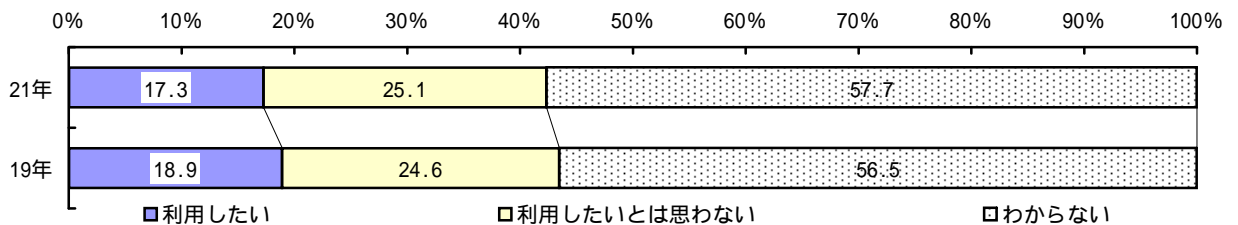
あなたは、「県政出前講座」を利用したいと思いますか。次の中から一つ選んで番号を  
で囲んでください。

	(%)
1 利用したい	17.3
2 利用したいとは思わない	25.1
3 わからない	57.7

利用したいとは思わない主な理由を、次の中から一つ選んで番号を で囲んでくださ  
い。

	(回答者 = 339)	(%)
1 県政に興味がないから		17.4
2 利用したい講座テーマが設定されていないから		3.2
3 設定されている講座テーマを知らないから		12.7
4 講座は難しそうなイメージがあるから		18.3
5 利用する時間がないから		31.0
6 市町が実施している各種の講座を利用しているから		2.7
7 その他		5.3
8 特にない		9.4

県政出前講座を利用したいかどうか聞いたところ、「利用したい」と答えた人の割合が17.3%、「利用したいとは思わない」が25.1%であるのに対し、「わからない」が57.7%となっている。  
また、前回調査と比較すると、「わからない」と答えた人の割合は1.2%増加、「利用したいとは思わない」は0.5%増加、「利用したい」は1.6%減少している。

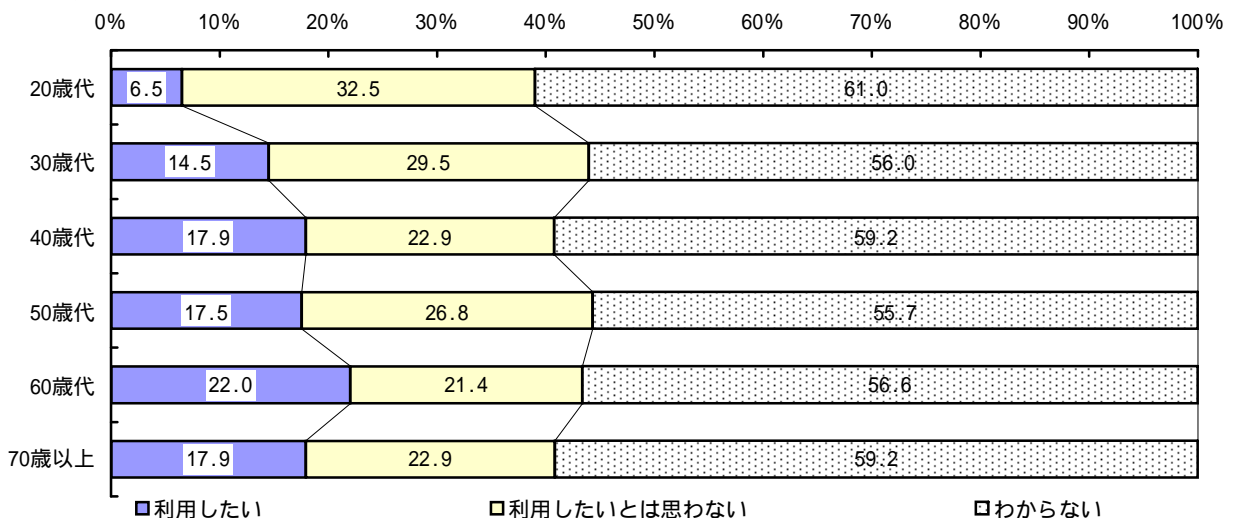


【年齢別】

年齢別にみると、「利用したい」と答えた人の割合は60歳代で最も多く、「利用したいとは思わない」及び「わからない」はそれぞれ20歳代で最も多くなっている。

また、「利用したい」と答えた人の割合は20歳代で他の年齢層と比較して特に少なくなっているほか、「利用したいとは思わない」は30歳代以下、50歳代で、「わからない」は20歳代、40歳代、70歳以上で他の年齢層と比較して多くなっている。

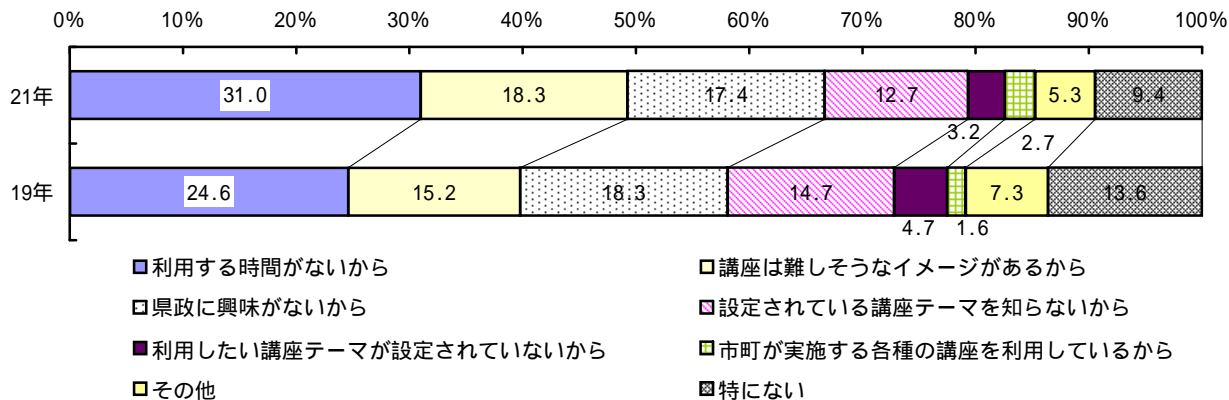
このほか、前回調査と比較すると、「利用したい」と答えた人の割合が70歳以上で11.2%減少している反面、「利用したいとは思わない」は9.3%増加している。



### 【利用したいとは思わない理由】

利用したいと思わない理由を聞いたところ、「利用する時間がないから」と答えた人の割合が31.0%で最も多く、以下「講座は難しそうなイメージがあるから」（18.3%）、「県政に興味がないから」（17.4%）、「設定されている講座テーマを知らないから」（12.7%）などの順となっている。

また、前回調査と比較すると、「利用する時間がないから」と答えた人の割合が6.4%増加しているほか、「講座は難しそうなイメージがあるから」が3.1%増加し、前回調査より0.9%減少した「県政に興味がないから」を上回り第2位となっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代から50歳代では「利用する時間がないから」と答えた人の割合が、70歳以上では「講座は難しそうなイメージがあるから」が、20歳代ではこれら2項目が同率で、60歳代では「県政に興味がないから」がそれぞれ最も多くなっている。

また、「利用する時間がないから」と答えた人の割合は30歳代、40歳代で、「講座は難しそうなイメージがあるから」は20歳代、70歳以上で、「県政に興味がないから」は20歳代、60歳代で、他の年齢層と比較して多くなっている。

このほか、前回調査と比較すると、「利用する時間がないから」と答えた人の割合が20歳代（15.7%増加）、30歳代（17.5%増加）、40歳代（12.4%増加）で、「講座は難しそうなイメージがあるから」は20歳代（11.0%増加）、70歳以上（12.6%増加）で、「県政に興味がないから」は20歳代（18.1%減少）、60歳代（13.8%増加）で、「設定されている講座テーマを知らないから」は50歳代（14.5%増加）で大幅に変化している。

